

令和元年度 事業報告

- 法人本部 1
- 障害者支援施設航 6
- 金沢地域活動ホームりんごの森 . 16
- 地域支援センター 29
- 横浜市釜利谷地域ケアプラザ . . 38
- 横浜市柳町地域ケアプラザ . . . 52

令和元年度 すみなす会法人本部事業報告

概説

年間事業計画に基づき、2月までに予定していた事業に関しては着実な進捗を図ることができています。重要な柱の一つとしている職員育成については全体研修及び階層別研修を予定通り実施し、人事考課制度の運用では職員の業務実績評価の試行を継続しました。

情報発信力の強化については法人ホームページの随時更新を継続し、インターンシップの導入、職員採用のパンフレット更新など、法人事業の魅力を伝える取り組みの充実を図りました。

2月下旬以降、新型コロナウイルス感染症への対応が必要となり、一部事業を中止するなど感染拡大防止を最優先とした対応を行ってきました。

1 理事会・評議員会の開催（継続）

（1）理事会

回	実施日	議 題
第1回	令和元年 6月6日	(1) 決議事項 第1号議案 平成30年度事業報告及び計算書類等の承認 (案) 第2号議案 令和元年度第一次補正予算(案) 第3号議案 理事及び監事候補者の推薦(案) 第4号議案 定時評議員会の招集(案) (2) 報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について
第2回	令和元年 6月26日	<決議の省略> 第1号議案 社会福祉法人すみなす会理事長及び常務理事の 選定 第2号議案 社会福祉法人すみなす会相談役の委嘱
第3回	令和元年 11月7日	<決議の省略> 議案 社会福祉法人すみなす会多機能型事業所設置に係る内 装工事及び厨房設備の契約締結方法等について
第4回	令和元年 11月29日	(1) 決議事項 第1号議案 令和元年度上半期事業報告(案) 第2号議案 令和元年度第二次補正予算(案) 第3号議案 規程の改正(案) ・ 経理規程 第4号議案 多機能型事業所設置に係る備品等購入のため

		<p>の契約締結方法等について（案）</p> <p>第 5 号議案 評議員候補者の推薦（案）</p> <p>第 6 号議案 評議員選任・解任委員会の招集（案）</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>① 理事長及び常務理事の職務執行状況報告について</p> <p>② 多機能型事業所設置に係る内装工事及び厨房設備の見積合せの結果について</p>
第5回	令和 2 年 3 月 23 日	<p>(1) 決議事項</p> <p>第 1 号議案 修繕積立金及び修繕積立資産の積立及び取崩について（案）</p> <p>第 2 号議案 令和元年度 第三次補正予算（案）</p> <p>第 3 号議案 令和 2 年度 事業計画（案）</p> <p>第 4 号議案 令和 2 年度 予算（案）</p> <p>第 5 号議案 理事長辞任の申し出（案）</p> <p>第 6 号議案 理事長の選定（案）</p> <p>第 7 号議案 常務理事の選定（案）</p> <p>第 8 号議案 施設長等の任命（案）</p> <p>第 9 号議案 諸規程の改正（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務分掌規程の改正 ・ 経理規程の改正 ・ 給与規程の改正 ・ 就業規則の改正 ・ 嘱託職員就業規則の改正 ・ 非常勤職員就業規則の改正 ・ 登録ヘルパー就業規則の改正 <p>(2) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評議員選任の報告

(2) 定時評議員会

回	実施日	議 題
	令和元年 6 月 26 日	<p>(1) 報告事項</p> <p>平成 30 年度事業報告</p> <p>(2) 決議事項</p> <p>第 1 号議案 平成 30 年度計算書類及び財産目録の承認（案）</p> <p>第 2 号議案 理事及び監事の選任（案）</p>

2 体系的な法人主催研修の実施（継続）

（1）全体研修

職員全員が共通に身に付けておくべき知識や技能について学ぶ機会としました。

研修名	実施日	研修内容 / 講師	参加者
人権研修	令和2年 1月14日 1月17日 <補講> 4回	「みんな一緒に」～歩いてきた道から～ 講師：社会福祉法人訪問の家 顧問 日浦美智江氏	249人 <補講> 69人

（2）階層別研修

全事業所の常勤・嘱託職員を対象に経験年数や職位に応じた研修を実施しました。

研修名	実施日	研修内容 / 講師	参加者
（採用時） 新任職員研修	平成31年 3月26日 3月27日	事業説明、施設見学、法人研修 <法人事務局> 接遇マナー研修 「職場における基本動作とコミュニケーション研修」 講師：Flightplan 代表 岩井昌江氏	5人
（中途採用職員） 新任職員研修	平成31年 4月4日 令和元年 7月1日 7月26日 9月2日 12月2日 2月3日	事業説明、法人研修 講義「法人理念・職員行動指針／組織で仕事を進めるために必要なこと」他 <法人事務局>	6人
新任職員研修	令和元年 9月13日	「サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント」 講師：(株)フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野睦氏	17人
	令和2年 2月7日	「一年目の振り返りと二年目に向けて」 <法人事務局>	3人
2年目職員研修	令和元年 6月17日	「自己覚知&記録の留意点」 講師：株式会社エイデル研究所 増田直哉氏	9人
中堅職員研修	令和元年 7月3日 (2回)	「記録の留意点&コミュニケーション研修」 講師：株式会社エイデル研究所 増田直哉氏	55人

主任・副主任研修	令和元年 7月22日 (2回)	「組織におけるスーパービジョン」 講師：株式会社エイデル研究所 増田直哉 氏	48人
課長補佐研修	令和元年 9月19日	「リーダーシップ for エンゲージメント ～働きがいのあるチームの作り方」 講師：(社福)みずき福祉会理事長 阿部美樹雄 氏	6人

(3) テーマ別研修

研修名	実施日	主な内容	参加者
法人研修	令和元年 7月30日	「包括的暴力防止プログラム」について 講師：東京都立松沢病院 精神看護専門 看護師 北野進 氏	24人
メンタルヘルス 研修 (衛生委員会企画)	令和元年 10月30日	「組織で取り組むメンタルヘルス ライン ケア」 講師：樹診療所かまりや 山田朋樹 氏	22人

3 人材育成体制の充実（継続）

人事考課制度を運用して2年目となり、職員について年間目標の達成状況、日常業務の遂行状況を確認しながら業務実績等の評価を行いました。考課者研修を継続して実施することで評価の精度を向上させることに努めています。次年度については、評価を処遇に反映する仕組みを導入することとしました。職員研修については、把握した職員の研修希望を活かし、体系化を進展させることが継続した課題となります。

4 情報発信力の強化（継続・拡充）

法人ホームページについては各事業所職員による情報更新を活性化することで、内容の充実を図りました。状況に応じた的確な情報を提供することで法人への関心を高めてもらえるよう工夫するなど、法人への理解を広げ、人材確保にも有用な内容となるよう改善を進めました。

学生等に法人への理解を広げる手法としてインターンシップを導入しました。実施者は2名に止まりましたが、法人の魅力を伝える機会として効果的であることが確認でき、今後に向け周知を強化していきます。

5 職員交流研修会の開催（継続）

各事業所から選出された実行委員による会議を開催し、継続性を重視しながら、職員交流の活性化を図りました。研修会では各事業所からの実践報告に工夫が見られ、相互理解を深めることができている。法人職員としての一体感を高めるものとして貴重な機会となっています。

6 法人本部建物の修繕等（新規）

航、釜利谷地域ケアプラザを含めた法人本部建物の修繕について、横浜市の消極的な姿勢に変化がなく、協議が進展せず、工事着手に至りませんでした。

室内に関しては、蛍光灯のLED化を計画的に進め、主要部分の交換は概ね完了しており、長寿命化、省エネルギー化を図ることができています。

<すみなすフェスタ等の開催>

名 称	開 催 日	参加者	備 考
すみなすフェスタ	令和元年 6月2日（日）	約 740 人	
りんごの森感謝祭	令和元年 9月7日（土）	約 560 人	
柳町ふれあい感謝祭	令和元年 11月2日（土）	約 350 人	柳町地域ケアプラザ 開所 10 周年記念 「金沢ひだまりの家」 「金沢福祉センター」合同

〔参考資料〕

職員の状況

（1）常勤職員数・嘱託職員数

	年度当初	中途採用者	退職者	異動		年度末
				転入	転出	
法人事務局	6	0	0			6
航	50	0	1			49
りんごの森	31	1	0			32
地域支援センター	26	3	1			28
釜利谷地域ケアプラザ	17	2	0			19
柳町地域ケアプラザ	15	0	0			15
計	145	6	2			149

（2）非常勤職員数

	年度当初	中途採用者	退職者	異動		年度末
				転入	転出	
法人事務局	1	0	0			1
航	65	17	10			72
りんごの森	26	7	3			30
地域支援センター	43	12	6			49
釜利谷地域ケアプラザ	55	8	2			61
柳町地域ケアプラザ	35	7	1			41
計	225	51	22			254

令和元年度 航 事業報告

概説

航が開所して19年を経過した現在、利用者の平均年齢は42.7歳、障害支援区分は最重度（障害支援区分6及び5）が92%と、利用者の高齢化や重度化が課題なっています。これまで航では、特に本人からの意思表示が困難な方々に対して、「自分のしたい生活を自分で決める」ことへの支援を進めるため、平成27年度に「航・意思決定支援プロジェクト」を創設し、利用者の意思決定支援に取り組んできましたが、本年度は改めて新プロジェクトを構成し、この意思決定支援は、「基本的人権の保障にかかわる最優先の支援である」ことを再認識するべく事業所全体で取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染予防対策として、職員の出社前検温の徹底の他、入所利用者への帰省実施の延期やご家族等の面会自粛等をお願いしました。

1 重点項目の実施状況

（1）意思決定支援推進の取り組み

副主任以上の職員にて「令和元年度航・意思決定支援研究プロジェクト」を編成しました。平成27年度に報告した「航における意思決定支援の在り方」について、①平成29年に厚生労働省により公表された「意思決定支援ガイドライン」との整合性を図り、方向性を確認すること。②事前に意思決定支援にかかわる考え方を職員内で整理し、グループでの実践や評価の共有を年間通して取り組みました。

支援を繰り返す中、これまで本人の意思と思いついていた支援が支援者の判断のみで行われていなかったらどうか？などと、改めてチームで検討を行ったほか、職員研修の場で実践事例を発表することで、全職員への周知を図る中で、各利用者に即したコミュニケーションツールを共有して活用し、職員が一貫した支援を進めることで、本人からの意思表示にも複数の職員に対して積極的に表現してくれるなどの変化が見られてきています。

（2）和紙（なごみ）のリフォームの実施

和紙の製造活動・販売等を主に行っている「和紙（なごみ）」は、平成15年に航の分室として開設してきましたが、室内の老朽化が目立ってきたため、利用者の高齢化に対応した休憩室の改善等を含む室内のリフォームの他、外観（看板の新設等）や作品展示コーナーの拡充を行いました。改修後、地域の方々の来店が増えており、依然と比べ、地域との交流に進展がみられています。

（3）職員研修の推進

内部研修では、昨年度に引き続き、各部署の主任が中心となり、現場における研修ニーズによる自主的な企画・運営をすすめることで、リーダーシップを発揮できる良い機会となり

ました。また、職員の人権意識の向上や利用者の健康や安全などの基本的な内容の他、「意思決定支援の研究プロジェクト」の中間報告を行うなど、全職員に向けて、利用者の意思決定における支援の重要性を広める機会となりました。

また、外部研修では、強度行動障害者支援者育成研修・医療的ケア実務者研修の他、障害基礎研修からリーダーシップ研修、プレゼンテーション研修などと、各職員のキャリアに応じた研修に派遣することで職員の資質向上に努めました。

（４）防災・防犯等避難訓練の実施

航が土砂災害警戒区域に指定されていることを受け、土砂災害を想定した防災避難訓練や地震による火災を想定した訓練等を実施しました。その他、昨年に引き続き、不審者の侵入を想定した避難訓練も行いました。またコパン及びそれぞれの分室においても地震や水害を想定した防災避難訓練を実施しました。

（５）４法人連絡会の取り組み

本年度も引き続き、すみなす会、やまびこの里、共生会、訪問の家の４法人で、毎月１回集まり、各法人共通の課題である人材確保・人材育成の他、人事労務や福祉行政情報等をテーマとして情報交換等を行いました。また、人材育成の一環として４法人合同の実践報告会の開催や、合同施設見学会の実施の他、今年度は、２か所の大学（関東学院大学、大妻女子大学）の在校生に対し、４法人合同で授業での法人紹介等を行いました。

（６）家族懇談会の実施

ご家族に航事業運営の透明化等を十分理解していただくとともに、支援職員と家族との風通しの良い関係を持続・発展させていくことを目的に、ユニットごとに職員と利用者家族が意見交換・懇談を行う「ユニット懇談会」や、日中活動職員と利用者家族とで行う「生活介護懇談会」、施設長・課長と家族とで行う「個別懇談会」等を実施しました。これらの懇談会を継続する中で、職員とご家族との信頼関係の醸成に努めました。

（７）地域交流

本年度も白山道町内会が主催する盆踊りやミカン狩り、手子神社例大祭のお神輿等に利用者・職員が参加させていただき、地域の皆様との交流の機会を持たせていただきました。

また、すみなすフェスタには、約 740 名の方々にお越しいただき、盛大に開催することが出来ました。その他、地域貢献事業の一環として設置された「カフェ・ドゥ・リアン」と「カフェ・ドゥ・アミー」では、地域住民の交流の場として、喫茶コーナー・作品展示コーナーのほか、地域の人たちの作品作り（ワークショップ）やミーティング等、多目的に利用できる場の提供を行うことで、地域の皆様の憩いの場として利用していただいています。

2 令和元年度航事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位：円)

	令和元年度	30年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	580,203,096	541,374,592	38,828,504	アミー開設による利用者の増、横浜市単独補助金額の増
経常経費寄附金収益	10,000	405,480	△ 395,480	
サービス活動収益計(1)	580,213,096	541,780,072	38,433,024	
人件費	411,767,603	396,038,699	15,728,904	常勤職員定期昇給及び非常勤職員増員、特定処遇改善加算支給による増
事業費	77,056,019	72,807,152	4,248,867	アミー開設に伴う家賃、給食費等による増
事務費	57,194,310	53,855,944	3,338,366	LED工事による増
減価償却費	37,640,883	37,541,735	99,148	
国庫補助金取崩額	△ 29,266,989	△ 29,412,569	145,580	
サービス活動費用計(2)	554,391,826	530,830,961	23,560,865	
収支差額(1-2=3)	25,821,270	10,949,111	14,872,159	
サービス活動外収益(4)	10,268,675	9,467,178	801,497	
サービス活動外費用(5)	3,518,800	3,446,350	72,450	
サービス活動外増減差額(4-5=6)	6,749,875	6,020,828	729,047	
経常増減差額(3+6)	32,571,145	16,969,939	15,601,206	

参考資料

(1) 実施事業(令和2年3月1日現在)

	事業名	定員数(人)	現員数(人)
国事業	施設入所支援事業	50	49
国事業	生活介護事業	60	75(注1)
国事業	生活介護事業 (コパン)	20	18(注2)
国事業	短期入所事業	4	5(注3)
横浜市事業	日中一時支援事業	若干名	若干名

- ※注1 生活介護事業の定員は60人ですが、現員の利用者数は75人となっています。
利用者75人の内訳 ①施設入所利用者41人 ②グループホーム利用者18人
③在宅の利用者16人。
- ※注2 利用者18名の内訳 ①施設入所利用者8人 ②グループホーム利用者8人 ③
在宅の利用者2人。
- ※注3 本来の短期入所事業の定員は4人ですが、地域支援の拡充を図るため施設入所定
員1人分を短期入所の利用に供し、5人の利用枠で対応しています。

(2) 航利用者の現況（令和2年3月1日現在）

①施設入所支援事業（ユニット）

（ ）は前年度

年齢階層 (歳)	利用者(人)			肢体 不自由 (人)	自閉 (人)	発作 (人)	障害支援区分		
	総数	男	女				区分6	区分5	区分4
10~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~29	8	6	2	0	6	0	5	2	1
30~39	7	5	2	2	3	4	6	1	0
40~49	22	16	6	3	10	8	17	3	2
50~59	10	7	3	2	3	3	9	1	0
60以上	2	0	0	0	0	0	1	0	1
総数	49	36	13	7	22	15	38 (39)	7 (6)	4 (4)
平均 年齢	42.7歳						78% (80%)	14% (12%)	8% (8%)

*利用者の平均年齢は42.7歳、前年度は41.7歳。

*利用者の男女比は男性73.5%、女性26.5%。

*入所施設利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全
体で92%。

*知的障害に加え、肢体不自由（14%）、自閉症（45%）、発作などの合併症
（31%）があります。

○施設入所利用者の平均障害支援区分は前年度5.71から本年度5.69とほぼ横ばい状
況となっています。

○「ユニット懇談会」は各ユニットの副主任が中心となって企画・運営をして実施し
ました。各利用者の日常の様子をまとめたアルバムをご家族全員へお渡し、ご家族か
ら大変喜ばれました。懇談の際は、利用者の日常の様子や旅行等の様子等を映像で紹
介しながら、ご家族と有意義な意見交換を行うことができました。

○ユニット及び日中活動の余暇活動では、利用者の意向に沿った余暇を企画しまし

た。余暇の内容としては、外食、買物、葛狩りやスイカ割り、カラオケ、調理等多様なプログラムを実施し、合計323件の実績となりました。2月中旬以降、新型コロナウイルスの影響により外出等を自粛したことにより、実績が少なくなっています。

○本年度もユニットごとに、小グループでの「旅行」を行いました。予めご本人・ご家族から、①日帰り旅行、②近場の一泊旅行、③遠方の一泊旅行から一つを選択できるようにしたほか、行先についても、①遊園地、②温泉、③牧場等から選択もできるようにし、利用者の皆さんの希望に添った旅行ができるようにしました。10月の台風の影響により、行き先の微調整が必要なグループもあったものの、実施することができました。なお、本年度は、「東京ディズニーランド」「東京スカイツリー」や「軽井沢リゾート」「伊香保温泉」など全13回に分けて行いました。

②生活介護事業（日中活動）

（ ）は前年度

年齢階層	利用者（人）			肢体 不自由 （人）	自閉 （人）	発作 （人）	障害支援区分			
	総数	男	女				区分6	区分5	区分4	区分3
15～19	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0
20～29	25	14	8	2	14	1	15	5	2	0
30～39	12	9	3	3	6	6	9	3	0	0
40～49	35	24	11	3	18	14	30	3	2	0
50～59	18	12	6	3	6	7	14	3	0	1
60以上	5	3	2	2	0	0	3	1	1	0
総数	93	63	30	13	45	28	72 (72)	15 (13)	5 (5)	1 (0)
平均 年齢	41.3 歳						78% (79%)	16% (14%)	5% (7%)	1% (0%)

*利用者の平均年齢は41.3歳、前年度は40.6歳。

*利用者の男女比は男性67.7%、女性32.3%。

*生活介護事業利用者の障害支援区分は、最重度（障害支援区分6及び5）の利用者が全体で94%。

*知的障害に加え、肢体不自由（14%）、自閉症（48%）、発作（30%）等の合併症があります。

○航生活介護事業は、定員60名に対して登録利用者数75名。

○コパンの生活介護事業は、定員20名に対して登録利用者数18名。

○本年度航生活介護事業およびコパンでは新規利用者を計3名の受け入れを行いました。

（受入れ内容）【航】4月 ⇒男性1名（週1日利用）

【コパン】9月 ⇒女性1名（週2日利用）

【コパン】11月 ⇒女性1名（週2日利用）

○夏季休暇中の日中活動は、本年度は、8月15日（木）～18日（日）までの4日間を夏期休暇期間としましたが、平日の15日～16日については、夏休みの行事を企画し、利用希望者に対して実施しました。

（実施内容）

- ・15日（木）午前：絵画活動、午後：プラスバンド演奏鑑賞会
- ・16日（金）午前：流しそうめん大会、午後：職員有志による演奏会

○生活介護事業（日中活動）懇談会の開催

・11月23日（土）に、在宅の利用者およびグループホームで生活されている利用者のご家族を対象に7年目となる懇談会を実施しました。常勤・嘱託職員、非常勤職員から、動画や写真を使っただけの日々の活動の様子等を説明し、闊達な意見交換をすることができました。

ア) 稼働日数

○航生活介護事業の稼働日数は、航は263日（月～金）、手織り工房コパンは243日（月～金：除祝日）。なお、クリスマス会などの行事等により、土曜日・日曜日の一部稼働しました。

イ) 活動班・在籍者数（生活介護事業）

（航）

活動班名	羅針盤 外注班	和海 紙すき班	農耕園芸班	リクル班	陶芸班
利用者数	10人	9人	11人	12人	8人
活動班名	手工芸班	アクティブ班	環境整備班	ITクラス	計
利用者数	6人	12人	2人	5人	75人

（手織り工房コパン）

活動班名	コパン	アミー	計
利用者数	13人	5人	18人

○クリスマス会は、前年度に引き続き横浜テクノタワーホテルで実施しました。食事やイベントなどを行い、利用者、家族、職員が懇親を深めることができました。

○利用者への工賃は、作業収入から材料費を除いた利益の中から、一人あたり月額

1,000円（週5日利用の場合）を支払い、賞与については、個人の作品の売り上げ等に
 応じて、基本の金額に加算して支払いました。実績額平均：夏季賞与2,561円、冬季賞
 与3,685円、期末賞与10,692円（支払い総額÷登録者93名）

③短期入所事業、横浜市日中一時支援事業

【令和元年度 短期入所事業 受入実績】（ ）は前年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
延べ宿泊人 数	42 (37)	36 (36)	36 (38)	43 (41)	44 (39)	35 (38)		
延べ宿泊日 数	112 (189)	96 (184)	98 (152)	114 (141)	118 (145)	92 (139)		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
延べ宿泊人 数	36 (43)	41 (44)	24 (39)	35 (33)	28 (30)	21 (32)	421 (450)	
延べ宿泊日 数	102 (152)	97 (175)	61 (147)	88 (88)	66 (81)	48 (94)	1092 (1687)	

○短期入所事業は、前年度に比して延べ利用日数で595日の減。

- ・一人あたりの平均利用日数は 2.6 日
- ・利用最長日数 31 日/月、利用最短日数 2 日

*利用の主な理由

- ・介護者の休息（レスパイト） 約 39%
- ・介護者の社会的理由（出張、冠婚葬祭他） 約 29%
- ・介護力の低下（介護者の入院等） 約 12%
- ・利用者の体験利用（宿泊練習含む） 約 20%

【令和元年度 横浜市日中一時支援事業 受入実績】（ ）は前年度実績

延べ利用人 数	4月	5月	6月	7月	8月	9月			
4H未満	3 (2)	3 (2)	3 (2)	5 (2)	5 (3)	2 (1)			
4H-8H未 満	9 (4)	6 (6)	5 (7)	7 (3)	7 (5)	4 (4)			
8H以上	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (1)			
延べ利用人 数	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	総合計	

4H未満	2 (3)	7 (4)	3 (2)	3 (3)	3 (4)	5 (5)	44 (33)	114 (92)
4H-8H未 満	6 (3)	4 (4)	5 (6)	5 (4)	4 (3)	3 (5)	65 (54)	
8H以上	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	

(3) 安全への配慮

①転倒	②誤与薬			③外傷		④所在不明		⑤誤嚥	⑥異食	⑦他害	⑧車両
	急薬	誤与薬	落錠	通院あり	様子観察	施設外	施設内				
13 (18)	9 (8)	8 (7)	9 (8)	8 (9)	7 (5)	1 (1)	3 (2)	1 (0)	3 (3)	8 (16)	9 (0)
	26 (23)			15 (14)		4 (3)					
79件 (77件)											

①は13件(前年度18件)で、前年度より5件の減少。

②誤与薬の事故件数は26件(前年度23件)で、前年度より3件増加。与薬時に錠剤を口元等から滑らせて床に落下させてしまう落錠や、排泄状況に応じた下剤の追加等を誤ってしまう急薬が目立ちました。

③外傷件数は15件(前年度14件)で1件増加しました。外傷のうち、軽微なものも含めて、骨折にあたるものが6件ありました。

④所在不明の件数は4件であり、うち1件は、ご家族と外出中に所在がわからなくなったものが含まれます。

⑤誤嚥は1件であり、外出の余暇活動の際に、食形態の配慮が不足して誤嚥してしまうことがありました。

⑥異食は3件。

⑦他害行為は8件。

⑧車両事故は9件。

*事故報告書については、軽微な事故でもすべて報告するよう義務づけ、施設長決裁としていきます。今後も事故防止の徹底に努めていきます。

(4) 職員研修(人材育成)

○外部派遣研修については、今年度は、強度行動障害支援者養成研修(基礎:7名・実践:1名)、医療的ケア実務者研修(2名)、サービス管理責任者更新研修(2名)など、事業運営において配置が必要な資格取得を目的とする研修に多く職員を派遣しました。経験年数の浅い職員には、新任職員研修や自閉症療育セミナー等の支援に当たる上での基礎知識を

学ぶ研修に派遣したり、中堅職員に対してはチームリーダー研修やリーダーシップ研修等の中堅職員としての資質を身につける研修に派遣したりしました。一方で、職員個々のスキルアップを図るために、プレゼンテーション研修・アセスメント研修等の講座にも派遣するようにしました。

○内部研修では、昨年度に引き続き、各部署の主任が中心となって、現場における研修ニーズを把握しながら、自主的な企画・運営を行うようにし、リーダーシップを発揮できる機会を持てるようにしました。また、年間の取り組みとして主任・副主任を中心に行ってきた意思決定支援研究プロジェクトに関する中間報告を取り入れることで、プロジェクトに参加していた職員だけでなく、広く内容の理解を深めることにつながりました。

【令和元年度 内部研修実績】

月	研修内容	主催	講師名	講師所属
4月	【新任職員研修】法人各事業説明・見学	法人	施設長・所長	すみなす会
	【法人マナー研修】コミュニケーション・電話対応	法人	岩井昌江氏	Flight Plan
5月	【令和元年度各部署年間目標と計画】講義およびグループワーク形式	航	課長・担当課長・主任	航
6月	【健康と安全について】講義および演習	航	課長・担当課長・主任	航
7月	【人権と虐待防止について】講義およびグループワーク形式	航	課長・担当課長・主任	航
8月	【自閉症について】講義とグループワーク形式	航	課長・担当課長・主任	航
9月	【感染症と予防について】講義と演習形式	航	課長・担当課長・主任	航
10月	【応急手当訓練について】講義と演習形式	航	課長・担当課長・主任	航
11月	【意思決定支援研究プロジェクト中間報告について】講義	航	担当課長	航
12月	【外部派遣研修報告について】派遣研修参加者より報告	航	課長・担当課長・主任	航
1月	【感染症と嚥下障害について】講義と演習	航	課長・担当課長・主任	航
2月	【各部署年間目標の振り返り】講義およびグループワーク形式	航	課長・担当課長・主任	航

(5) その他

①苦情解決

苦情受付

(1) 件数 0件 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(2) 内容

(件)

苦情の内容	平成30年度	令和元年度
① 虐待・放置・脅迫・詐取に関すること	0	0
② サービス・支援内容に関すること	0	0
③ 個人の嗜好・選択に関すること	0	0
④ 利用者の所持金に関すること	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	0

②避難訓練

令和元年度の航の避難訓練は、9月7日(土)、3月6日(水)の2回実施しました。9月は、航は土砂災害警戒区域に指定されていることを受けて、土砂災害想定で実施をしました。また、10月には夜間における火災を想定し、白山道町内会と合同で準備を進めていましたが台風19号の接近により中止となっています。3月は日中の地震を想定して訓練を実施しました。訓練では利用者の避難誘導を行った後に、職員を対象に土砂災害の各地で起こった水害・土砂災害の事例の共有や消火器の取り扱い方法などの学習を行いました。

・3月の避難訓練では地震発生後速やかにテーブルの下に身を隠したり、難しい利用者については頭部をクッションなどで防御しました。(利用者47名、職員25名)

・航の従たる事業所と手織り工房コパンにおいてもそれぞれ避難訓練を実施しました。

「和海」(金沢区釜利谷東)では、2月28日(金)(地震想定)と3月25日(水)(水害想定)に実施し、「羅針盤」(金沢区泥亀)では、10月18日(金)(地震想定)と3月19日(木)(地震想定)に実施しました。また、「手織り工房コパン」(金沢区釜利谷東)においても、3月6日(金)(地震想定)で実施しました。

令和元年度 金沢地域活動ホームりんごの森事業報告

概説

地域生活支援拠点の機能として基幹相談支援センターが24時間体制で緊急時対応し、必要に応じてショートステイ等を活用しました。しかしながらショートステイ事業では本年度より市の要請を受けて全4床の内の1床は緊急枠として待機状態としていたこともあり、稼働数は866件と前年度と比べ94件の減となりました。

ショートステイ													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数 (下段は前年度)	74	83	73	72	78	62	78	68	72	66	71	69	866
	(93)	(101)	(90)	(75)	(87)	(73)	(78)	(81)	(70)	(72)	(72)	(68)	(960)

日中活動では地域の利用希望に応えられるよう、多機能型事業所ラ ヴァリエッタ (la varietta) を開設しました。開設までの準備期間中にご利用者の障害の状況に合わせた活動班の再編を行い、安定した支援体制の整備を進めることができました。

りんごの森生活介護事業														
	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神と重複	知的・身体 の重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
総数	45	32	77	27	19	20	10	1	0	39	9	7	22	7
平均年齢	36.3歳			35%	25%	26%	13%	1%	0%					

ラ ヴァリエッタ (la varietta) 生活介護事業														
	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神と重複	知的・身体 の重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				内要医療	
総数	2	4	6	1	0	4	1	0	0	1	1	0	4	0
平均年齢	32.8歳			17%	0%	67%	17%	0%	0%					

新型コロナウイルス感染症への対応について、ご利用者及び職員共に感染予防の観点から日々の健康チェックの他、手洗い消毒などの対策を取りながら運営いたしました。

生活介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎車乗車前の検温の実施 ・手洗い・消毒・マスクの着用 ・外出活動の自粛 ・在宅支援の推奨
横浜市地域生活支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一時ケア、ショートステイの利用自粛要請 ・おもちゃ文庫の営業中止 ・地域交流室等の使用中止
基幹相談支援センター 計画相談	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問及び面談の自粛

1 重点項目の実施状況

(1) 大規模修繕（新規）

開設から 15 年目となる今年度は、能見台ふれあい館全体での大規模修繕を長期修繕計画のとおり実施し、内容は下記のとおりです。また、令和 2 年度には 15 年後を見据えた新長期修繕計画を策定する予定です。

・外壁等修繕	18,824,400 円
・GHP 交換工事	33,868,000 円
・その他の消防照明交換等	1,252,800 円
・設計管理料	3,780,000 円
合計	57,725,200 円

(2) 新規事業プロジェクトの推進（新規）

りんごの森の日中活動への利用希望や区内における就労系事業所への利用ニーズに応えられるよう、令和 2 年 2 月 1 日に生活介護事業と就労継続支援 B 型（共に定員 10 名）を併せた多機能型事業所ラ ヴァリエッタ (la varietta) を金沢区富岡東に開設しました。主な活動内容として、チョコレートブランドである一般社団法人ラ・バルカグループのフランチャイズ加盟店に参入し、久遠チョコレートの製造販売に取り組むことになりました。慣れない活動内容に職員・利用者ともに戸惑うこともありましたが、毎日少しずつ取り組みながら、店舗のオープンへ向けて準備を進めています。（オープンは令和 2 年 4 月 25 日予定）

(3) 自立生活援助事業・自立生活アシスタントの推進（新規）

4 月から事業開始している自立生活援助事業は月に 2 回の訪問で支援期間が 1 年と有期限であるなど、自立度の高い方が対象となります。今現在では対象者が少なく、契約人数は 1 名に留まりました。

また、従前から実施している自立生活アシスタントのご利用者は知的障害を有しており、臨機応変にいつでも駆け付けられる支援が求められている傾向にあるため、今後も同事業の継続が必要となっています。

(4) 相談支援事業の推進（継続・拡充）

地域における緊急的な事案に対して、24 時間体制で基幹相談支援センターが対応しました。必要に応じてショートステイ等を有効に活用するなど、能動的に地域生活支援拠点の機能を活用しながら対応することができました。

また、基幹相談支援センターが進行役となって区域の計画相談事業所と月に 1 回程度事例検討会を開催。参加した地域の相談支援従事者にとって互いに気付きを得る機会となりました。

(5) 区との連携事業の推進（継続・拡充）

① 障害者サークル（レインボーハピネス）※一般就労の方を対象とした活動支援

- ・定例会 全 12 回（毎月 1 回、第 4 日曜日）
- ・行 事：6/23（日）鎌倉ハイキング 参加者：10 名（内職員 3 名）
9/29（日）ディズニーシー 参加者：10 名（内職員 3 名）
11/24（日）横浜ラポール 参加者：10 名（内職員 3 名）

② みんなのギャラリー（障害者の作品展示・交流の場）

日 程：令和元年 12/9（月）～12/20（金）

会 場：いきいきセンター金沢 1 階ロビー、金沢区役所 1 階エレベーター前

来訪者：御芳名者 161 名（いきいきセンター）

作品展示・26 点（絵画、他手工芸品等）、施設紹介パネル展示・23 事業所

③ 親あるうちの準備を考える連続講座

- ・第 1 回目講座：6/5（水） 参加者：31 名
テーマ「将来を一緒に考える相談相手・福祉サービス・制度・年金等」
- ・第 2 回目講座：8/1（木） 参加者：56 名
テーマ「障害者のすまいについて」
- ・第 3 回目講座：9/25（水） 参加者：53 名
テーマ「成年後見制度の概要」
- ・第 4 回目講座：11/14（木） 参加者：59 名
テーマ「相続と遺言・家族信託」
- ・講演会：12/6（金） 参加者：228 名
「障害がある子の家族が知っておきたい親なきあと～『親あるあいだの準備』～」

(6) 日中活動利用者のニーズに応じた支援（継続・拡充）

多機能型事業所ラ ヴァリエッタ（la varietta）の開設に合わせて、りんごの森では活動班の再編成を行いました。ご利用者に対して丁寧に意向の確認をしながら、高齢化、障害の重度化などの状況に合わせて班の再編を行いました。また、より個別的な支援を必要とするご利用者に対しては、発達障害者支援センターの協力を得ながら、安心できる環境で個別に分かりやすい活動プログラムを取り入れることによって、見通しをもって穏やかに活動する様子が見られるようになりました。

2 令和元年度金沢地域活動ホームりんごの森事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

(単位 円)

	元年度	30年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	151,688,446	137,431,522	14,256,924	加算による増
経常経費寄附金収益	1,500,000	0	1,500,000	
サービス活動収益計(1)	153,188,446	137,431,522	15,756,924	
人件費	118,925,012	107,088,327	11,836,685	常勤職員の増
事業費	20,448,524	16,308,153	4,140,371	備品購入による増
事務費	43,014,947	15,238,605	27,776,342	大規模修繕による増
減価償却費	14,001,963	16,140,113	△2,138,150	
国庫補助金取崩額	△12,501,253	△14,901,886	2,400,663	
サービス活動費用計(2)	183,889,193	139,873,312	44,015,881	
収支差額(1-2=3)	△30,700,747	△2,441,790	△28,258,957	
サービス活動外収益(4)	6,002,793	6,851,475	△848,682	
サービス活動外費用(5)	1,969,600	2,233,000	△263,400	
サービス活動外増減差額(4-5=6)	4,033,193	4,618,475	△585,282	
経常増減差額(3+6)	△26,667,554	2,176,685	△28,844,239	

参考資料

<資料編>

(1) 実施事業（令和2年3月31日現在）

①生活介護事業・地域活動支援センター（デイサービス型）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数		21日	21日	20日	22日	21日	19日	21日	20日	20日	19日	19日	21日	244日
(昨年度)		20日	21日	21日	21日	23日	18日	22日	21日	19日	19日	19日	20日	244日
生活介護 りんごの森	契約者数 (下段は前年度)	78 (76)	79 (76)	80 (76)	80 (77)	80 (77)	81 (78)	81 (74)	81 (74)	82 (74)	77 (74)	77 (74)	77 (74)	
	延利用人数	923 (887)	939 (934)	929 (950)	1028 (878)	898 (875)	891 (732)	973 (931)	947 (878)	938 (769)	905 (762)	720 (794)	855 (855)	10946 (10245)
生活介護 ラヴァリエッタ	契約者数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	
	延利用人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	101	116	217
地域活動 支援センター (デイ型)	契約者数 (下段は前年度)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	
	延利用人数	8 (16)	7 (17)	5 (16)	6 (17)	6 (13)	0 (13)	0 (18)	0 (18)	0 (18)	0 (18)	0 (5)	0 (7)	32 (122)
全体	契約者数 (下段は前年度)	79 (77)	80 (77)	81 (77)	81 (78)	81 (78)	81 (79)	81 (75)	81 (74)	82 (74)	77 (74)	83 (75)	83 (75)	
	延利用人数	931 (903)	946 (951)	934 (966)	1034 (895)	904 (888)	891 (745)	973 (949)	947 (878)	938 (769)	905 (762)	821 (799)	971 (862)	11195 (10367)

りんごの森

年齢階層 (歳)	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神と重複	知的・身体 の重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当				重複障害	内要医療
19~29	16	11	27	12	10	5	0	0	0	11	4	1	11	0
30~39	14	7	21	9	6	5	1	0	0	12	2	2	5	4
40~49	8	6	14	3	2	7	2	0	0	6	2	1	4	3
50~59	6	6	12	3	0	3	5	1	0	8	1	3	1	0
60以上	1	2	3	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	0
総数	45	32	77	27	19	20	10	1	0	39	9	7	22	7
平均年齢	36.3歳			35%	25%	26%	13%	1%	0%					

- ・平均年齢は、36.3歳（昨年度は36.2歳）
- ・平均障害支援区分は4.79、区分5以上が60%
- ・知的・身体障害の重複障害（28%）、また医療的ケア対応（9%）となっており、他法人の地域活動ホームと比べても医療ケアを必要とする方の受け入れを行っています。

ラ ヴァリエッタ (la varietta)

年齢階層 (歳)	利用者(人)			障害支援区分						知的	身体	精神と重複	知的・身体 重複障害	
	男	女	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	非該当					内要医療
19~29	1	2	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
30~39	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0
40~49	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
50~59	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
60以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	2	4	6	1	0	4	1	0	0	1	1	0	4	0
平均年齢	32.8歳			17%	0%	67%	17%	0%	0%					

- 平均年齢は 32.8 歳
- 平均障害支援区分は 4.16、区分5以上が 17%

○日中活動の状況と取り組み

今年度は多機能型事業所ラ ヴァリエッタ (la varietta) の開設に合わせ、りんごの森の日中活動について、より活動しやすい環境を整えるために各利用者の活動班編成を行いました。まずはお家族・ご利用者様へ取り組みについてのご説明を丁寧に行い、ご希望を伺いました。そして、段階的に活動班の場所や利用者の異動を行い、適宜変更等にも対応してまいりました。各活動班の取り組みは下記の通り整理し、さらなる支援の充実を図っています。

- 活動班
 - a アップルベーカリー（主にパン作り）
 - b アップルスイーツ（車いすの方でも参加できる菓子製造）
 - c アップルファクトリー（主に制作活動）
 - d アップルクラフト（自閉症特性を生かした活動）
 - e アップルアート（静かな環境を好む方の活動）
 - f アップルアラカルト（散歩や体操等動きを伴う活動）
- その他活動
 - a 運動プログラム（ダイヤビック、車いすダンス、散歩他）
 - b 外販
 - c スヌーズレン
 - d 日帰り旅行（ディズニーシー、ららぽーと、ソレイユの丘等）計 9 日間実施
 - e おやつ外出企画（毎月 1 回）
 - f 家族懇談会（全 3 日間 5 月に開催）

○多機能型事業所ラ ヴァリエッタ (la varietta) 開設

令和2年2月1日より、金沢区富岡東6丁目にて多機能型事業所ラ ヴァリエッタ (la varietta) を開設し、生活介護（定員10名）と就労継続支援 B 型（定員10名）の事業指定を受けました。

また、開設に合わせてりんごの森のご利用者6名と新規ご利用者2名が実習という形で通所を開始しました。ラ ヴァリエッタ (la varietta) では、国内チョコレートブランドである一般社団法人ラ・バルカグループの「久遠チョコレート」のフランチャイズ加盟店に参入し、チョコレートの製造販売に取り組むことになりました。慣れない活動内容に職員・利用者ともに戸惑うこともありましたが、毎日少しずつ取り組みながら、店舗のオープンへ向けて準備を進めています。（オープンは令和2年4月25日予定）

②相談支援事業

○計画相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	221	226	229	230	234	235	236	239	240	240	240	239	
(昨年度)	(168)	(174)	(176)	(178)	(186)	(192)	(197)	(205)	(209)	(213)	(213)	(216)	
計画案作成	8	10	12	16	15	20	12	19	19	15	16	20	182
	(43)	(9)	(10)	(15)	(21)	(24)	(16)	(22)	(20)	(17)	(19)	(23)	(239)
モニタリング	61	66	75	56	63	61	63	59	61	55	53	55	728
	(17)	(63)	(68)	(64)	(38)	(47)	(54)	(56)	(56)	(65)	(51)	(55)	(634)

今年度は、モニタリング実施頻度を調整しながら、地域のりんごの森計画相談の希望者や基幹相談支援センターからの新規申し込みに対応してきました。また加算等の創設により、実務の煩雑さは増しましたが、個々の相談員のスキルは確実に上がり、臨機応変に対応できるようになってきました。これまで法人事業所のご利用者を中心に事業推進してきましたが、今後はより一層地域で暮らす方が安心した地域生活が維持できるよう、基幹相談支援センターや区役所等との連携を密に図り、特別支援学校卒業後の方についても積極的にサービス提供していく方針です。

○基幹相談支援センター（委託相談）上半期

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
相談件数内訳	相談件数 (昨年度)	164 (197)	151 (201)	150 (248)	219 (243)	175 (236)	172 (158)	
	うち金沢区	157	149	137	204	153	158	
	実人員	87	75	81	97	80	84	
	成人	81	71	72	82	70	73	
	うち金沢区	77	69	71	72	67	67	
	児童	6	4	8	15	10	11	
	うち金沢区	6	4	7	14	8	9	
新規・相談経路（実人員）	新規	12	3	13	17	7	12	
	継続	75	72	68	80	73	72	
	本人・家族	5	2	5	5	2	3	
	学校	0	0	1	1	0	1	
	区役所CW、MSW	0	0	3	0	0	1	
	他区地域活動ホーム、日中活動先	1	0	1	0	2	1	
	後見的支援室、計画相談事業所	0	0	0	5	3	1	
	施設	0	0	0	0	0	0	
その他	6	1	3	6	0	5	その他…二次相談支援機関、病院SW、包括支援センター、デイケア	
障害種別（延件数）	身体障害	10	5	9	5	2	5	
	知的障害	113	99	90	124	80	79	
	精神障害	31	37	39	69	63	59	精神不安定な状態が続き、傾聴に努めるケースが増加している
	重心	0	0	0	1	0	0	
	高次脳機能障害	0	0	0	1	0	0	
	発達障害等	7	9	7	8	20	15	平成29年度よりカウントの仕方変更。手帳なしでアスペルガー等診断の出ている方のみをカウント
	不明	3	1	5	11	10	14	
	障害種別(小計)	164	151	150	219	175	172	
相談内訳（延件数） ※複数カウント	福祉サービスの利用等に関する支援	113	104	101	142	112	96	福祉サービス（日中活動、SS・短期入所、ホームヘルパー等）の利用相談
	障害や病状の理解に関する支援	25	31	23	46	29	42	
	健康・医療に関する支援	12	21	22	28	14	27	
	不安の解消・情緒安定に関する支援	59	35	36	55	33	30	
	保育・教育に関する支援	1	1	1	1	2	1	
	家族関係・人間関係に関する支援	32	30	23	22	23	20	
	家計・経済に関する支援	8	8	6	11	7	12	
	生活技術に関する支援	7	8	0	9	8	8	
	就労に関する支援	9	3	1	6	6	8	
	社会参加・余暇活動に関する支援	3	5	4	8	6	4	
	権利擁護に関する支援	4	2	0	5	4	1	
	視覚障害者等情報弱者への朗読等支援	0	2	1	4	1	1	
ピアカウンセリング	1	0	0	0	0	0		
個別支援会議（サービス担当者会議）	6	0	6	11	8	6		
地域自立支援協議会（定例会議・部会）	2	7	5	6	4	4		
基幹相談支援センター連絡会	2	3	2	2	2	2	主任相談員分科会、地域移行・地域定着担当者会、権利擁護・虐待防止担当者会他	
（基幹）金沢区関連の連絡会議	3	3	3	3	3	3	区・生活支援センター・地活 定例会議、区・生活支援センター・地活 定例会議、精神定例会議	
（基幹）その他の関係機関連絡会議	1	6	9	8	8	4	成年後見サポートネット、退院サポート、地域の計画相談事業所サポート、基幹周知活動(H29.6月～)	

○基幹相談支援センター（委託相談）下半期

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
相談件数内訳	相談件数 (昨年度)	210 (239)	153 (256)	118 (228)	113 (165)	117 (141)	140 (141)	
	うち金沢区	199	146	113	103	114	135	
	実人員	91	74	62	69	71	74	
	成人	78	72	57	58	58	63	
	うち金沢区	74	70	55	54	57	60	
	児童	13	17	5	12	13	11	
	うち金沢区	13	15	4	11	11	11	
新規・相談経路（実人員）	新規	11	8	7	13	14	6	
	継続	80	66	55	56	57	68	
	本人・家族	2	1	2	5	3	2	
	学校	1	3	2	1	3	0	
	区役所CW、MSW	2	0	2	1	1	1	
	他区地域活動ホーム、日中活動先	1	0	0	2	2	0	
	後見的支援室、計画相談事業所	0	2	0	1	2	1	
	施設 その他	1 4	0 2	0 1	0 3	0 3	0 2	その他…二次相談支援機関、病院SW、包括支援センター、デイケア
障害種別（延件数）	身体障害	10	12	6	8	5	5	
	知的障害	122	99	63	59	71	77	
	精神障害	50	33	49	36	28	47	精神不安定な状態が続き、傾聴に努めるケースが増加している
	重心	0	0	0	0	0	0	
	高次脳機能障害	5	0	0	0	0	1	
	発達障害等	15	7	0	6	7	6	平成29年度よりカウントの仕方変更。手帳なしでアスペルガー等診断の出ている方のみをカウント
	不明	8	2	0	4	6	4	
	障害種別(小計)	210	153	118	113	117	140	
相談内訳（延件数） ※複数カウント	福祉サービスの利用等に関する支援	120	115	65	80	86	96	福祉サービス（日中活動、SS・短期入所、ホームヘルパー等）の利用相談
	障害や病状の理解に関する支援	34	27	29	27	17	22	
	健康・医療に関する支援	13	11	22	11	10	9	
	不安の解消・情緒安定に関する支援	43	34	29	32	28	30	
	保育・教育に関する支援	4	6	0	2	5	2	
	家族関係・人間関係に関する支援	42	30	24	22	18	33	
	家計・経済に関する支援	12	14	14	8	6	7	
	生活技術に関する支援	19	8	5	5	7	8	
	就労に関する支援	9	8	4	3	3	5	
	社会参加・余暇活動に関する支援	3	2	0	2	1	1	
	権利擁護に関する支援	1	1	1	4	1	0	
視覚障害者等情報弱者への朗読等支援	0	0	0	0	0	0		
ピアカウンセリング	0	0	0	0	0	1		
個別支援会議（サービス担当者会議）	9	3	4	10	4	6		
地域自立支援協議会（定例会議・部会）	11	10	6	7	6	0		
基幹相談支援センター連絡会	2	3	1	4	4	1	主任相談員分科会、地域移行・地域定着担当者会、権利擁護・虐待防止担当者会他	
（基幹）金沢区関連の連絡会議	3	4	3	3	3	3	区・生活支援センター・地活 定例カンファレンス、精神定例カンファレンス	
（基幹）その他の関係機関連絡会議	3	2	3	3	5	2	成年後見サポートネット、退院サポート、地域の計画相談事業所サポート、基幹周知活動(129.6月～)	

○金沢区基幹相談支援センター

“こんにちは基幹相談支援センターです”活動では、区内の地域ケアプラザを主に訪問し、基幹相談支援センターの事業内容を周知したり、地域ケアプラザの課題等を確認したりしました。現在、課題となっている80/50問題（高齢世帯、引きこもりの子）における課題については、障害特性に関する知識の教授や、障害福祉サービスの情報提供、家庭訪問の際の同行など、基幹相談支援センターへの協力依頼があり、引き続き地域ケアプラザとの連携を深めていくこととなりました。

また、強度行動障害のあるケースについては、昨年度より引き続き、横浜市発達障害者支援センター地域支援マネジャーのコンサルテーション事業を活用し、地域生活の安定を図るため、計画相談員や区役所ケースワーカー、グループホーム等、各関係機関と連携し支援を実施しました。

障害者地域自立支援協議会・相談支援部会では、日中活動連絡会、グループホーム連絡会、計画相談事業所連絡会、重心連絡会の4連絡会を発足し、各連絡会の代表を中心に、顔の見える関係づくり、各事業所での支援状況等の情報共有等を行いました。地域課題の抽出や課題解決へ向けて、今後も意見交換等を行ってまいります。

③横浜市地域生活支援事業

○一時ケア・ショートステイ実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	366日
一時ケア	件数 (下段は前年度)	144 (154)	138 (162)	142 (151)	152 (164)	171 (180)	130 (127)	141 (140)	130 (142)	143 (131)	149 (138)	148 (124)	137 (150)	1725 (1763)
	時間数	360.0 (481)	352.5 (491)	322 (447)	416 (494)	511 (595)	311 (321)	355 (317)	364.5 (351)	386 (390)	368.5 (346)	395.5 (314)	378 (445)	4520.0 (4988)
SS	件数 (下段は前年度)	74 (93)	83 (101)	73 (90)	72 (75)	78 (87)	62 (73)	78 (78)	68 (81)	72 (70)	66 (72)	71 (72)	69 (68)	866 (960)

今年度のショートステイは866泊の実績となりました。また、一時ケアやショートステイでは特別支援学校等への送迎を継続したことでショートステイを利用しても、日中は通常どおりの通学ができるなど、緊急時に親子が共に安心して過ごせるよう環境整備を行いました。

また、余暇活動はグループホームや単身生活をしている登録者向けの調理クラブの実施、その他、館内での活動を中心に児童から成人まで幅広いご参加がありました。今後も一人でも多くのご参加がいただけるよう日程・時間などの調整に配慮します。

○おもちゃ文庫実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数 内訳	児童 (下段は昨 年度実績)	59 (100)	36 (103)	68 (108)	78 (128)	117 (134)	143 (68)	76 (94)	103 (95)	134 (124)	123 (82)	212 (98)	12 (98)	1161 (1232)
	保護者 (下段は昨 年度実績)	52 (88)	35 (86)	67 (103)	76 (105)	108 (110)	132 (58)	70 (83)	86 (92)	112 (109)	99 (71)	168 (86)	8 (87)	1013 (1078)
合計 (下段は昨年度実績)		111 (188)	71 (189)	135 (211)	154 (233)	225 (244)	275 (126)	146 (177)	189 (187)	246 (233)	222 (153)	380 (184)	20 (185)	2174 (2310)

毎夏恒例のベビープールを使用した企画イベント“水遊び”は、今年度は大規模修繕の時期と重なったため、実施できませんでしたが、ボールプールを設置・開放することで、多くのお子様・お母様方にご利用いただきました。

また、12月“クリスマスツリーを飾ろう”や、2月“雪合戦(新聞紙を丸め投げ合う)”の企画についても、沢山のご参加があり楽しめました。

④ 自立生活アシスタント事業

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数		23	23	22	21	21	22	22	23	24	24	24	25	274
		(23)	(23)	(23)	(24)	(23)	(24)	(24)	(25)	(25)	(25)	(24)	(24)	(287)
面接(来所)		12	12	15	20	16	13	16	7	15	10	19	9	164
		(23)	(17)	(21)	(28)	(31)	(6)	(23)	(18)	(25)	(21)	(21)	(15)	(249)
電話・メール等		81	75	57	66	83	65	65	76	60	55	75	116	874
		(90)	(118)	(91)	(128)	(119)	(69)	(118)	(96)	(96)	(117)	(72)	(65)	(1179)
訪問		71	51	46	54	63	49	44	64	63	35	49	61	650
		(62)	(74)	(67)	(54)	(76)	(53)	(76)	(77)	(75)	(69)	(60)	(62)	(805)
同行		46	53	49	47	47	42	55	48	50	49	51	44	581
		(53)	(50)	(48)	(57)	(51)	(38)	(49)	(53)	(47)	(34)	(40)	(48)	(568)
その他 カンファレンス		4	0	1	0	3	0	0	2	8	0	0	2	20
		0	(2)	0	0	(5)	(1)	0	(5)	(10)	(5)	(12)	(2)	(42)

3月末で登録者は25名。年度内における新規登録は5名、解除は4名でした。

新規登録の内訳

- ・親の介護力の低下によるもの 2件
- ・退院によるもの 1件
- ・発達障害によるもの 1件
- ・成人後に手帳発行を受けたことによるもの 1件

解除の内訳

- ・支援課題終了によるもの 2件

- ・本人希望によるもの 1件
- ・グループホーム入居によるもの 1件

自立生活アシスタント登録者の余暇活動は、金沢スポーツセンターでのバスケットボールや卓球等の運動と、区役所主催の花火鑑賞への参加を行いました。

⑤自立生活援助事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約人数				1	1	1	1	1	1	1	0	0	7
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0
面接(来所)				1	5	2	2	1	0	3	0	0	14
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0
電話・メール等				1	4	2	1	1	3	9	4	0	25
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0
訪問				7	5	8	4	6	5	5	1	0	41
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0
同行				2	0	11	4	3	2	3	9	0	34
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0
その他 カンファレンス				0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	0

事業指定を受けて4月より事業を開始しましたが、支援実績として契約人数は1名で支援期間は令和元年7月から令和2年1月の7か月間でした。両親の健康状態から世帯状況の変化があり、ご本人の将来に対する意向確認をとりながら支援を進める中で希望のグループホーム入居が決まり、現在では契約終了となりました。

④ 研修

法人内研修

研修名	参加者数
暴力防止プログラム	2名
人権研修	53名
階層別研修	28名
職員交流研修	59名

外部研修

研修名	参加者数
地域精神保健部門見学ツアー	延べ46名
横浜型医療的ケア児・者支援者養成研修公開講座	
安全運転管理者法定講習	
衛生管理責任者講習	
横浜市集団指導（就労継続支援）	
横浜市相談支援研修Ⅰ	
横浜市相談支援研修Ⅱ	
横浜市相談支援研修Ⅲ	
横浜市相談支援従事者初任者研修	
若者支援前期コース	
2019年度初任者キャリアパス対応課程	
2019年度中堅職員キャリアパス対応課程	
2019年度チームリーダー・キャリアパス対応課程	
小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会	
食品適正表示推進講習会	
強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	
強度行動障害者支援者養成研修（実践）	
身元保証研修Ⅰ・Ⅱ	
高次脳機能障害支援者向け研修Ⅰ	
食品衛生責任者養成講座	
生産活動・就労支援部会職員研修会	
お金にまつわる支援者向け研修	

⑤ その他

・苦情解決

(1) 件数 0件（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(2) 内容 (件)

苦情の内容	元年度	30年度
① 虐待・放置・脅迫・搾取に関する事	0	0
② サービス・支援内容に関する事	0	1
③ 個人の嗜好・選択に関する事	0	0
④ 利用者の所持金等に関する事	0	0
⑤ その他	0	0
計	0	1

令和元年度 地域支援センター 事業報告

概説

地域支援センターは、共同生活援助事業（グループホーム）、ケアステーション心海（ヘルパー派遣事業）、金沢区障害者後見的支援室帆海の3つの事業を展開しています。

グループホームでは、12棟、61名が入居利用中です。

（グループホーム入居者状況）

令和2年3月末

年齢階層	構成（人）			肢体 不自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
	総数	男	女				6	5	4	3	2	
総数	61	31	30	14	15	18	35	10	13	1	2	61
平均年齢	48.61歳											

職員の負担の軽減に向け人材確保に努めてきましたが、特に女性の常勤職員が不足している状況です。

（GH職員状況）

令和2年3月末

	男（ ）は、H29年度	女（ ）は、H29年度	合計（ ）は、H29年度
GH常勤	12（ 11 ）	9（ 12 ）	21（ 23 ）
GH非常勤	13（ 6 ）	34（ 28 ）	47（ 34 ）
派遣	3（ 1 ）	3（ 0 ）	6（ 1 ）
合計	28（ 18 ）	46（ 40 ）	74（ 58 ）

（金沢区障害者後見的支援推進事業）

金沢区障害者後見的支援室帆海では周知活動を継続して行い、登録者が3月末で75名となりました。

令和2年3月末

年度	H29年度	H30年度	令和元年度
登録者数（人）	61	64	75

（ケアステーション心海）

ケアステーション心海については、登録ヘルパーや顧客の獲得に向け、サービス提供責任者増員の準備をしたほか、次年度より新しく指定を受ける「行動援護事業」の開始に向け体制を整えました。

(新型コロナウイルスへの対応)

：グループホーム

マスクや消毒液の在庫確認と配布

職員出勤時の検温・手洗いのチェック

入居者の面会・規制・遠方への外出の自粛

：ケアステーション心海

移動支援のヘルパー派遣自粛

：後見的支援室帆海

訪問・面談を自粛し、登録者へは定期的に電話連絡での対応

1 重点項目の実施状況

(1) 地域支援センター内の人材育成の強化<各事業共通> (継続)

職員不足が続いた中ではありますが、今年度は、より計画的に外部研修に派遣を行い、昨年の2倍近くが参加できていました。年度後半は新型コロナウイルスの関係による外部研修の開催中止が続きましたので、外部派遣ができない状態となりました。

また、職員会議においても、事務連絡事項に加え定期的なグループワークを実施し、職員相互の交流と職員のスキルアップに努めました。

☆職員会議でのグループワーク内容

5/13-サバイバルNASA、 7/5-相手の性格を読み取る・選択肢当て

9/6-グループで似顔絵書き・当て 8月・1月-栄養研修

3月-中止

(2) 地域との連携の強化・推進<各事業共通> (継続・拡充)

地域支援センターのロゴは、年末からの運用開始ができました。地域支援センター看板も変更しました。



(3) グループホーム (共同生活支援事業) の支援の充実と安定的運営 (継続)

会計報告会を始め定期的に入居者の様子を報告するなど、丁寧に関わりをもち、信頼関係を深めるように努めました。

また、提供する食事については、年間に2回、管理栄養士を講師に招き、助言・指導を受けました。

(4) 心海（ヘルパー派遣事業）の拡大（継続・拡充）

移動支援の需要が、多くあり、2月までは、前年度を上回る稼働時間で推移していましたが、新型コロナウイルスの影響で、3月が、1/3以下の稼働になり、前年度を下回りました。

次年度より開始を予定している「行動援護」の事業指定に向け準備を整えました。

区社協とタイアップし、「ガイドヘルパー養成研修」を、11月等の3日間開催しました。8名が受講し、うち2名が登録となりました。

新型コロナウイルスへの対応ですが、居宅介護は通常通りに行いました。移動支援については、3月は、遠方、人混みへの外出をキャンセルする対応をしました。

（移動支援稼働時間数）

	H29年度	H30年度	令和元年度
利用者数 - 人	1 2 7 4	1 1 6 1	1 2 3 2
稼働時間数 - 時間	3 6 0 7	3 3 8 9	3 2 9 9

(5) 横浜市後見的支援室・帆海の普及啓発（継続）

区基幹相談とのタイアップで「親あるうちの準備を考える」連続講座への参加により、登録者は64名から75名になりました。

また、新型コロナウイルスへの感染防止として、訪問・面談は自粛し、登録者へは定期的な電話連絡などで対応を行い、登録者の安心に繋がるようにしました。

（登録者数）

年度	H29年度	H30年度	令和元年度
登録者数 - 人	6 1	6 4	7 5

2 令和元年度地域支援センター事業活動収支決算概要

事業活動収支総括表

（単位：円）

	元年度	30年度	増減	備考
障害福祉サービス等事業収益	381,480,452	360,593,707	20,886,745	海翔開設 重度加算者増
経常経費寄附金収益	0	0	0	
サービス活動収益計(1)	381,480,452	360,593,707	20,886,745	
人件費	268,690,949	240,581,538	28,109,411	派遣職員増 非常勤賃金上げ

事業費	68,343,769	66,083,332	2,260,437	公用車更新他
事務費	18,043,246	17,879,065	164,181	
減価償却費	3,541,725	3,724,458	△182,733	
国庫補助金取崩額	△1,831,576	△1,928,866	97,290	
サービス活動費用計 (2)	356,788,113	326,339,527	30,448,586	
サービス活動増減差額(3)=(1)-	24,692,339	34,254,180	△9,561,841	
サービス活動外収益 (4)	1,718,671	1,715,986	2,685	
サービス活動外費用 (5)	816	1,000	△184	
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	1,717,855	1,714,986	2,869	
経常増減差額(3)+(6)	26,410,194	35,969,166	△9,558,972	

<資料編>

実施事業(令和2年3月31日現在)

(1)共同生活援助事業(グループホーム) ※国事業

①共同生活援助事業 事業所

R2.3 未現在()は前年度数

	事業所名	定員(人)	現員(人)	所在地	運営開始時期
1	晴海	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成16年4月1日
2	なかなかホーム	5(5)	5(5)	中区本郷町	平成16年4月1日
3	拓海	5(5)	5(5)	金沢区大道	平成17年4月1日
4	歩海	4(4)	4(4)	金沢区釜利谷南	平成18年4月1日
5	希海	5(5)	5(5)	金沢区六浦	平成29年12月1日 移転
6	つばき	5(5)	5(5)	金沢区朝比奈	平成20年10月1日
7	いづみ	5(5)	5(5)	泉区和泉中央北	平成22年4月1日
8	アイリス	5(5)	5(5)	泉区和泉中央南	平成22年4月1日
9	はま風	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成23年3月1日
10	岬	5(5)	5(5)	金沢区釜利谷東	平成22年4月1日(帆海) 平成24年1月1日(岬)
11	灯	6(6)	6(6)	金沢区釜利谷東	平成26年4月1日
12	海翔	6(6)	6(6)	金沢区六浦	平成30年11月1日
	合計	61(61)	61(61)		

②利用者状況

R2.3 末現在 ()は前年度実績

	事業所名	構成(人)		平均 年齢 (歳)	肢 体 不 自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					
		男	女					6	5	4	3	2	平均
1	晴海	0	5	54.0 (52.8)	0	2	1	2	1	2	0	0	5.0 (5.0)
2	なかなか ホーム	2	3	45.2 (44.0)	1	1	1	1	3	1	0	0	5.0 (5.0)
3	拓海	5	0	51.3 (50.3)	1	2	0	4	1	0	0	0	5.8 (5.8)
4	歩海	0	4	57.5 (56.5)	1	0	1	2	2	0	0	0	5.5 (5.5)
5	希海	5	0	48.8 (47.5)	1	2	1	3	2	0	0	0	5.6 (5.6)
6	つばき	0	5	45.0 (44.0)	1	0	1	2	1	0	1	1	4.4 (4.6)
7	いづみ	3	2	46.4 (45.4)	1	2	2	4	0	1	0	0	5.6 (5.6)
8	アイリス	0	5	48.2 (47.2)	2	0	2	0	0	4	0	1	3.6 (3.6)
9	はま風	5	0	49.2 (48.2)	0	1	2	5	0	0	0	0	6.0 (6.0)
10	岬	5	0	41.2 (40.2)	2	2	4	4	0	1	0	0	5.6 (5.6)
11	灯	0	6	56.0 (55.0)	3	0	2	4	0	2	0	0	5.3 (5.3)
12	海翔	6	0	40.7 (37.7)	1	3	2	4	0	2	0	0	5.3 (5.3)
総数		31	30	48.6 (47.9)	14	15	20	35	10	13	1	2	5.22 (5.24)
		61(55)						(31) (58%)	(10) (16%)	(11) (23%)	(2) (0%)	(1) (3%)	

③利用者年齢階層

R2.3 未現在

年齢階層	構成（人）			肢体 不自 由	自 閉	発 作	障害支援区分					計
	総数	男	女				6	5	4	3	2	
19以下	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
20～29	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
30～39	13	8	5	2	5	3	6	2	4	0	1	13
40～49	20	12	8	4	7	9	17	1	2	0	0	20
50～59	16	9	7	4	3	6	9	4	2	1	0	16
60以上	10	1	9	4	0	0	3	3	4	0	0	10
総数	61	31	30	14	15	18	35	10	13	1	2	61
平均年齢	48.61 歳											

*利用者の男女比は男性 50.8%、女性 49.2%。

*利用者の障害支援区分は、最重度(区分6及び5)の利用者が全体で74%。
(前年度は71%、前々年度は73%。)

*利用者の平均年齢は前年度と変わらず 48.61 歳。0.66 歳の高齢化。

*海翔は、令和元年 12 月に 1 名が退所。令和 2 年 2 月に在宅より 1 名が入居した。

(2) 居宅介護事業、横浜市移動支援事業

①居宅介護事業

R2. 3 未現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
R2.3(10)		0	+1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	+1
延べ稼働 利用者数	人	47	43	45	48	48	46	48	58	52	46	53	49	583
		(41)	(43)	(45)	(43)	(43)	(42)	(49)	(43)	(41)	(44)	(39)	(46)	(519)
稼働 時間数	時 間	95.0	84.5	95.5	93.5	97.0	104.5	94.0	114.0	120.0	98.5	119.0	109.0	1224.5
		(100.5)	(98.0)	(106.5)	(99.5)	(84.5)	(89.5)	(97.5)	(83.5)	(92.0)	(96.5)	(74.5)	(101.0)	(1,123.0)

②横浜市移動支援事業

R2. 3 未現在 () は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者数	人	59	59	60	60	60	61	61	61	61	61	62	62	59

R2.3(59人)		0	0	+1	0	0	0	+1	0	0	0	+1	0	+3
延べ稼働利用者数	人	113	102	121	119	93	107	105	104	107	108	107	46	1232
		(106)	(108)	(105)	(91)	(73)	(99)	(94)	(101)	(95)	(88)	(93)	(108)	(1162)
稼働時間数	時間	317.5	303.5	345.0	313.5	279.0	294.5	282.5	291.0	266.0	282.0	245.5	79.0	3299
		(291.5)	(33.0)	(327.5)	(255.0)	(327)	(286.5)	(260.5)	(278.5)	(253.0)	(244.0)	(311.0)	(307.0)	(3389.0)

※移動支援事業では、利用申し込みが多いが、3月に新型コロナウイルスの感染防止のため稼働時間が減少した。

③登録ヘルパー

R2.3末現在 ()は前年実績

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
総登録者数 R2.3.31(20人)	人	20	20	20	20	20	20	20	19	19	20	20	20	20
		0	0	0	0	0	0	0	-1	0	+1	0	0	0
居宅介護ヘルパー R2.3.31(12人)	人	12	12	12	12	12	12	12	11	11	12	12	12	12
		0	0	0	0	0	0	0	-1	0	+1	0	0	0
移動支援ヘルパー R2.3.31(20人)	人	20	20	20	20	20	20	20	19	19	20	20	20	20
		0	0	0	0	0	0	0	-1	0	+1	0	0	0

(3) 障害者後見的支援推進事業（金沢区障害者後見的支援室 帆海）

①相談受付・訪問

R2.3末現在 ()は前年実績

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度案内	件	2	0	3	3	2	2	2	3	2	3	3	2	27
		(4)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2)	(1)	(5)	(7)
継続相談	件	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
		(2)	(2)	(2)	(1)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	(1)	(0)
他制度紹介	件	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	4
		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
登録者訪問・面談		38	38	47	45	37	39	39	49	37	41	44	7	461
その他		0	1	2	1	1	1	4	5	2	1	2	1	21
計		40	39	52	50	40	42	46	58	42	48	50	12	519

※3月は新型コロナウイルスの感染防止のため、訪問・面談は自粛した。

②登録者数（実人数）

R2. 3 末現在

内 容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録者	人	65	66	69	70	71	72	72	74	74	75	75	75	75
H31.3 (64人)		+1	+1	+3	+1	+1	+1	-0	+2	0	+1	0	+0	+11

*令和元年度は登録者が11名、登録解除者は0名。

③周知活動

R2. 3 末現在 ()は前年実績

内 容		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
制度説明	件	0	1	2	1	1	0	2	1	1	0	0	1	10
		(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(2)	(0)	(2)	(1)	(9)
関係施設等 訪問	件													27
		(1)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(22)	(1)	(0)
計		1	2	3	0	0	1	0	1	2	22	2	1	35

(4) その他

①事故件数

ア. 居宅介護事業・横浜市移動支援事業（ケアステーション心海）

() 前年度実績

ヘルパー派遣ミス	誤与薬・怠薬	所在不明
0(0)	0(0)	0(0)

イ. 共同生活援助事業

() 前年度実績

①転倒		②外傷		③誤与薬・怠薬		⑤その他			
通院あり	様子観察	通院あり	様子観察	怠薬	誤与薬	入院	不明金	新型コロナウィルス感染	インフルエンザ集団感染
1 (2)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	3 (3)	2 (2)	2 (1)	1 (2)	0	0 (1)
1 (2)		2 (1)		5 (5)					

*事故件数は9件で、誤与薬・怠薬が半数を占めた。

服薬マニュアルの再確認を全体で行い、再発防止に努めた。

②苦情解決 (地域支援センター全体)

・苦情件数0件(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

・苦情内容

苦情の内容	元年度	30年度
① 虐待・放置・脅迫・詐取に関する事		
② サービス・支援内容に関する事		1件
③ 個人の嗜好・選択に関する事		
④ 利用者の所持金に関する事		
⑤ その他		
合計	0件	1件

令和元年度釜利谷地域ケアプラザ事業報告

概説

年々、医療・介護の需要が高まる中、「介護・医療・介護予防・生活支援・住まい」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の着実な構築が急務となっています。

地域での多世代交流、健康づくり、居場所づくり等を目標とした、第3期金沢区地域福祉保健計画の推進に向けて、地域支援チームの一員としての役割を担うべく、地域・行政・関係機関と協働して取り組みました。

通所介護事業では新規利用者開拓や利用回数増加に向けた努力を重ね、利用者数の増加に結び付けることができました。

令和3年度以降の指定管理受託に向け、地域から期待される役割を果たすため、これまでの事業実績を生かして3月に応募しました。(結果は令和2年度中盤の予定)

新型コロナウイルス感染予防対策のため、3月1日より貸館業務が中止となり、自主事業も中止・延期となりました。

【2月・3月の新型コロナウイルス感染症対策】

- ・職員、利用者のマスク着用 手指等の消毒を徹底
- ・ボランティア受入の見合わせ
- ・職員出勤前の健康チェック(チェック簿の記載)
- ・貸館、自主事業の中止
- ・サービス担当者会議等訪問を伴う業務を原則自粛 等

1 重点項目

(1) 地域活動・交流事業

第3期金沢区地域福祉保健計画の実現に向け、地域住民、関係機関並びに地域ケアプラザ内各部署と連携して事業に取り組みました。また、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業と協働で「見守り活動・支えあい活動」を継続して実施していくとともに、地域での取り組み活動の支援を行いました。

自主事業開催数	219回(前年度比 △54回)	延べ4,039人(前年度比 △728人)
貸館状況	1,128件(前年度比 △347件)	延べ8,464人(前年度比 △1,591人)

(2) 地域包括支援センター事業

総合相談では、地域住民の様々な相談に対応しました。年々権利擁護に関する相談が増えてきており、認知症高齢者などへの個別対応の他に、各種事業をケアマネージャーや社会福祉士等の専門職が連携して行いました。

また、介護予防支援のボランティア育成講座等を開催し、地域で介護予防のリーダーを担う人材を積極的に育成するなど、新たなボランティアの発掘にも努めました。

【包括担当エリア】

高齢化率：65歳以上の人口比

地区	人口	高齢化率
釜利谷東（1～4丁目、6～8丁目）	14,170人	24.52%
釜利谷南（1～4丁目）	7,386人	32.4%
高舟台（高舟台1、2）	3,774人	37.2%

（3）生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

高齢者が住み慣れた地域で役割や生きがいを持ち、自分らしい生活を送ることが出来るよう、地域の助け合いや社会参加による介護予防について住民とともに考える機会をもちました。また地域との関係性を構築し、各地域で開催されているサロン等との情報交換を通じて、それぞれの課題解決に向けた支援を行いました。

（4）指定居宅介護支援事業（介護予防・総合事業を含む）

住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができるよう、各種サービス事業所をはじめ地域包括支援センターや地域活動交流、行政、病院等とも密接に連携し、多職種で在宅生活を支えるチーム作りを行い、支援しました。地域ケアプラザの居宅介護支援事業所の使命として短期間利用ケースや困難ケースなどを積極的に受け入れました。

【居宅介護支援事業の状況】

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて39件 ●1か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,377件（前年度比 83件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	310件（前年度比 16件）

（5）デイサービス事業

令和元年度は総利用者数が9,686名となり、前年度比451名の増加となりました。

新規利用者数は前年比1.4倍となりましたが、継続して利用していただくためにプログラムの見直しをするなど、利用者のニーズをくみ取り、デイサービスを利用する目的を明確にしました。

新規利用者の確保のため、デイサービスの雰囲気を知ってもらうため、ケアマネジャーに見学の案内や食事の招待を行いました。写真で利用者の様子が確認できるように、月一度のモニタリングに写真を付けて伝えました。また、ホームページの定期的な更新をしてデイサービスの活動をより分かりやすく伝えていきました。

認知症対応型通所介護「やまゆり」については、年間を通じ安定した運営を行うことができます。

新規利用者も徐々に増加し、1日の平均利用者数の伸びにつながりました。

	延べ利用者数	前年度比	定員/日	平均利用者/日
通所介護事業	9,686	451	40	27.1
認知症対応型やまゆり	3,004	262	10	9.7

2 令和元年度事業活動収支決算概要
事業活動収支総括表（含むやまゆり）

(単位円)

	元年度	30年度	増減	備考
介護保険事業収益	229,574,597	217,721,961	11,852,636	利用者増
サービス活動収益計(1)	229,574,597	217,721,961	11,852,636	
人件費	174,828,282	169,648,297	5,179,985	特定処遇改善 非常勤時給改定
事業費	28,771,714	29,510,568	△738,854	
事務費	26,369,287	25,726,974	642,313	
減価償却費	1,904,556	1,967,157	△62,601	
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	
サービス活動費用計(2)	231,873,839	226,852,996	5,020,843	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△2,299,242	△9,131,035	6,831,793	
サービス活動外収益計(4)	2,142,359	2,604,143	△461,784	
サービス活動外費用計(5)	1,310,000	1,438,900	△128,900	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	832,911	1,165,896	△332,985	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△1,466,331	△7,965,139	6,498,808	

<資料編>

1 事業別報告

(1) 地域活動交流事業

第3期金沢区地域福祉保健計画の実現に向け、地域住民、関係機関並びに地域ケアプラザ内各部署と連携して事業に取り組みました。また、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業と協働で「見守り活動・支えあい活動」を継続して実施していくとともに、地域での取り組み活動の支援を行いました。

自主事業を通して、生活圏で住民同士が出会い、知り合える環境づくりを行うとともに、交流を図りながら健康寿命を延ばすことを目的とした事業を継続して実施しました。また、子育て中の母親の“やりたいこと”の実現の支援や、男性の活躍の場の提供を行いました。

地域ケアプラザの特性を活かした福祉体験、職業体験の場の提供や広報紙やインターネット等の媒体を利用した、地域ケアプラザ事業についての周知と福祉保健や健康に関する情報提供も引き続き行いました。

(2) 地域包括支援センター事業

社会福祉士、主任ケアマネジャー、地域相談の経験のある看護師の専門職が連携し、総合相談事業、権利擁護事業、包括的継続的ケアマネジメント事業、介護予防ケアマネジメント事業、介護予防支援事業を実施しました。

① 総合相談支援事業

ア 総合相談件数

	電話・その他	来所	訪問	合計
元年度	1409	379	238	2026
30年度	1327	351	271	1949
増減	82	28	-33	77

イ 総合相談内容の内訳（電話・来所の主な内容）内訳

	介護保険	介護予防	行政サービス	インフォर्मルサービス	認知症（BPSD）	認知症（医療）	介護（認知症以外）	医療（認知症以外）	施設入所・入院	日常生活課題	苦情	成年後見制度・消費者保護	虐待	その他	合計
元年度件数	1647	2	23	74	221	79	46	152	81	60	62	95	45	1155	3772
30年度件数	1736	26	35	71	270	142	47	168	127	154	48	81	28	708	3641

② 権利擁護事業

ア 権利擁護に関する相談 95件(延べ件数)

・成年後見制度に関する相談

（本人家族やケアマネジャーに対して制度説明、専門職につなげる、後見人がつくまでの対応、後見人がついたあとのフォロー、任意後見について説明等）

・あんしんセンターに関する相談（本人家族やケアマネジャーに対して制度説明、本人とあんしんセンターをつなぐ、つないだあとのフォロー等）

・消費者被害に関する相談（詐欺電話等）

・高齢者虐待相談対応（本人、親族、ケアマネジャー、事業所からの報告に基づき、訪問確認や区への通報等）

イ 権利擁護事業等に関する業務

・区主催の成年後見サポートネットワーク事業に参加（年4回）

・区主催の高齢者虐待防止連絡会に参加（年1回）

・成年後見制度、高齢者虐待防止、消費者被害防止のチラシ・リーフレットを配布、ケアプラザ内に掲示し呼びかけ

・各出張講座、フェスタ等で成年後見制度の説明・独自で作成したチラシの配布

<自主事業>

・成年後見制度について…「終活セミナー&無料個別相談会」で行政書士による講座・個別相談会開催、「新任ケアマネジャー研修」で講義開催（他包括共催）。また、金沢文庫病院の院内スタッフを対象とした成年後見制度研修を司法書士に依頼し実施。

- 消費者被害防止について（地域活動交流共催）…「くらしの教室」では、横浜釜利谷郵便局に依頼し、消費者被害の実態についての講座を宿町内会にて開催。防犯に関する講話を金沢警察署生活安全課に依頼し宮ヶ谷町内会にて実施。「あんしんして暮らすための10分講座」でミニ講座16回実施、「ちょっとおじゃまします」で町内サロンにてミニ講座3回実施。
- 高齢者虐待防止について…「民生委員とケアマネジャーの情報交換会」を開催し、事例を通して高齢者虐待の基礎知識、早期発見、対応方法等について研修を実施。
- 介護者のつどい…年5回実施（映画鑑賞会、自宅でできるリハビリ、薬について、認知症予防、男性介護者向け）

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	27	15	12	23	32	33	25	28	24	30	32	22	303
30年度	5	13	11	26	33	29	25	20	17	34	17	32	262
増減	22	2	1	Δ3	Δ1	4	0	8	7	Δ4	15	Δ10	41

イ 事業等取り組みについて

- 金沢区薬剤師会／包括主任ケアマネ部会共催で「薬剤師とケアマネジャーの情報交換会」では「医療カスケード」の勉強会を開催し連携についての手段等を検討しました。
- 個別地域ケア会議を1回開催し、課題を共有しました。エリア内のケアマネジャー・民生委員・地域福祉従事者を対象に包括レベル地域ケア会議を1回開催し「かまりやーの・あいさつ運動」の取り組みに繋がった。
- 金沢区内の新任ケアマネジャー対象に区主任ケアマネ部会として3回(9月・11月)研修を実施しました。
- 金沢区南部「5地域包括支援センター」の主任ケアマネ共催で、事例検討会を2回開催、ケアマネジャーの質の向上とケアマネ同士の情報交換の場「サロン南風」を2回開催しました。
- 地域密着型サービス運営推進会議の定期的な開催が必要とされる13施設に、年度合計28回参加し、地域の関係者と連携協力しあう関係作りに努めました。

④ 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防一般高齢者施策（65歳以上のすべての高齢者）への取り組み

- 出張講座やイベント等で、参加者に対し介護予防に関するミニ講座と個別相談を実施しました。
- 栄養講座を「高舟台」「阿王ヶ台」で実施しました。
- スクエアステップ講座を「宿町内会」で5回実施しました。

- ・口腔ケア講座を「宿町内会」「高舟台」「パークタウン」で実施しました。
- ・「認知症予防：口腔ケア編」として歯科医師を講師にお招きし開催しました。
- ・ケアプラザのイベントでロコモチェック、個別相談会を実施しました。
- ・転倒予防講座等を「阿王ヶ台」「坂本」「ニューライフ」で実施しました。
- ・ポールウォーキング講座を4回コースでケアプラザや近隣の公園で実施しました。
- ・男性限定「太極拳講座」を10回コースでJA横浜 金沢支店で実施し、その後横浜市元気づくりステーションとして継続できるよう支援しました。
- ・エリア内に立ち上がった「白山道さわやか元気づくりステーション」「阿王ヶ台 スマイル」「こずみカフェ」「釜利谷太極拳」を区役所とともに支援した。

⑤ 介護予防支援事業

ア 包括支援センター担当件数(給付管理票作成件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	107	104	91	94	94	96	98	101	99	90	87	80	1141
30年度	91	91	93	91	93	94	94	97	97	96	98	94	1129
増減	16	13	▲2	3	1	2	4	4	2	▲6	▲11	▲14	12

※ 包括支援センター担当件数とは、包括支援センターで作成した件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	138	153	163	163	160	163	169	167	168	173	177	172	1966
30年度	143	153	148	150	153	156	157	163	163	153	158	159	1856
増減	▲5	0	15	13	7	7	12	4	5	20	19	13	110

※ 委託件数とは、包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成した件数。

⑥ 認知症関連事業

- ・認知症サポーター養成講座（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）…釜利谷地区の保健活動推進員向け（西金沢地域ケアプラザ共催）、パークタウン自治会住民向け、釜利谷保育園の年長さん・先生向け、高舟台小学校4年生向け、釜利谷南小学校3・4年生向け、関東学院大学の生徒と先生向け（西金沢地域ケアプラザ共催）に開催しました。また、包括エリア内の「釜利谷認知症キャラバン・メイト交流会」を開催し、情報交換や日頃の悩みの話し合いを実施、今後「かまりやみかん」として活動していくことを確認しました。
- ・かまりやサロン（地域活動交流・生活支援体制整備事業共催）…認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所（認知症カフェ）や家族の交流場としてカフェ・ドゥ・リアンにて月1回ペースで継続実施しています。

(3) 生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーター業務)

高齢者が住み慣れた地域で役割や生きがいを持ち、地域の住民、自治会・町内会、ボランティア団体、民間企業とともに、暮らしやすい「まちづくり」を進めていきます。また、社会参加による介護予防を進めてきました。

① 地域との関係性の構築

地域と顔の見える関係を築き、地域で開催されているサロン等に出向き地域の社会資源の把握と地域のニーズを把握に努めました。地域に伺う際は、サロン等に集まっている方々に必要と思われる情報提供に努めました。

② 各主体間のネットワークの構築

地域で開催されている様々な主体のネットワーク「つながりの会」を5職種で開催し、情報交換を行いました。併せて今年度は、地域にある金沢文庫病院の言語聴覚士に講演していただき参加者で学ぶ機会をもちました。

③ 資源開発等

5職種で行っている協議体「かまりやーの」を通じて、昨年度より始まった「かまりや あいさつ運動」の啓発を進めるため、東京都健康長寿医療センター研究所より講師を招き「いつもの活動で健康づくり 自分も地域も健康になろう！」について講演会を開催しました。次のステップとして小学校と繋がり、今後一緒に活動していく予定となりました。

地域に必要な担い手の育成を行うため、シニアボランティアポイントの研修会を行う予定としていました。来年度も引き続き、研修の周知と実施を行い、担い手の育成に努めます。

④ 生活支援・介護予防に関する啓蒙・啓発

社会参加による介護予防をすすめるため、「釜利谷 みんなの情報シート」を包括支援センター 主任ケアマネジャーと一緒に情報収集を行い、必要な所に配布をしました。また、自身で買い物に行ける様「釜利谷みんなのお買い物情報」を地域の担い手や民生委員、介護事業所等とご希望の方々に配布しました。

生活支援においては、各自治会・町内会の担い手や役員に対し、今後の必要性について伝える機会を作りました。今後も引き続き伝えていきます。

(4) 居宅介護支援事業

利用者本人の身体状況、利用者を取り巻く家族や住環境などを総合的に評価した上で「居宅サービス計画」「介護予防サービス計画」「介護予防ケアマネジメント」を作成しました。サービスありきの計画ではなく「介護予防」「自立支援」を第一に考え、利用者や家族の意向を尊重しながら、関わっている他の専門職の意見も積極的に取り入れ、自らも専門職として適切な提案やアドバイスをを行い、在宅生活の支援を行いました。

今年度も特定事業所加算Ⅱの算定を継続し、特定事業所として地域のケアマネジャーの資質向上も視野に入れた取り組みを行いました。

① 質の高いケアマネジメントを行うための取り組み

ア 24時間の連絡体制

専用の携帯電話を所持することで24時間相談に対応できる体制を作りました。

イ 週1回以上のケアマネ会議の実施

会議の中で全員の担当ケースを共有することで、担当者不在時も迅速に対応できるようにしました。また、支援の難しいケースについては随時検討会議を行い、担当ケアマネジャー個人だけではなく事業所全体で考える体制をつくり、より公平で質の高いケアマネジメントを行えるようにしました。

ウ 外部研修や勉強会への積極的な参加と内部研修

各ケアマネジャーがさまざまな勉強会や研修に参加することで、知識だけではなく地域や多職種との連携も深め、地域の生きた情報を収集しました。またその研修内容を用いて内部研修や報告書の回覧などを行い共有することで、各ケアマネジャーの知識レベルの差を少なくし、事業所全体の資質の向上に役立てました。

② 地域ケアプラザのケアマネジャーとしての取り組み

地域包括ケアシステムの推進のために、さまざまな職種や地域資源との密接な連携に努め、介護が必要になっても住み慣れた金沢区で生活を続けられるよう取り組みました。早期の退院や在宅での看取りなど医療ニーズの高い利用者や、地域包括支援センター、区役所等との協働が必要なケースも積極的に受け入れ、地域ケアプラザのケアマネジャーならではの地域に密着した活動を行いました。

③ 金沢区のケアマネジャーに対する資質向上に向けた取り組み

ア 金沢区の介護支援専門員連絡会の役員として活動を行い、区内ケアマネジャーの支援を行ったほか、区内ケアマネジャーの管理者会を立ち上げ運営しました。この会では制度対策や勉強会、市内・区内の介護保険事業について情報交換を主に行い、事業所の垣根を越えて相談しあえる環境を作りました。

イ 横浜市介護支援専門員連絡協議会に役員として月二回出席し、制度改正や市の取り組みなどについての情報共有や健康福祉局、医療局の職員の方と直接意見交換などを行いました。情報の収集や現場の意見を横浜市に直接伝えることができ、そこで得た情報を地域に下ろすことでケアマネジャー業務の円滑化を支援することができました。

介護ケアプラン作成数（要介護1～要介護5判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	108	112	113	109	108	114	115	119	118	121	121	119	1377
30年度	110	110	105	106	104	107	107	110	108	109	109	109	1294
増減	-2	2	8	3	4	7	8	9	10	12	12	10	83

介護予防ケアプラン作成数（要支援1～要支援2判定の方）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	28	25	26	27	26	25	27	26	24	25	26	25	310
30年度	22	23	23	23	24	24	24	24	25	26	28	28	294
増減	6	2	3	4	2	1	3	2	-1	-1	-2	-3	16

※ 現在の常勤換算では一か月あたり148件が上限

※ 特定事業所加算Ⅱ（1件あたり4,446円）は介護ケアプランのみ算定できる。

金沢区等委託契約による介護認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	11	12	10	9	8	14	8	7	14	12	18	13	136
30年度	13	10	12	9	17	14	23	12	7	17	7	7	148
増減	△2	2	△2	0	△9	0	△15	△5	7	△5	11	6	△12

※要介護認定期間が最長三年に延長されたことで調査件数は減少傾向となっている。

(4) デイサービス事業

（指定通所介護事業、横浜市通所介護相当サービス）

居宅サービス計画を基に、利用者個々に適した通所介護計画を作成し、適切なサービスを提供したほか、「安心」「安全」「笑顔になれるデイサービス」を目標とし良質なサービスの提供に努めました。関係機関と密接な連携に努め、ご家族の相談等にも親身に対応し、身体的精神的負担の軽減を図りました。また、質の高いサービスを提供するために、内部・外部の研修に積極的に参加しました。

① 営業日 357日 休業日 法人催事6月2日 自然災害10月12日
12月29日～1月3日 計8日

② 利用者数 通所介護相当サービス利用者数 年間 1,095名
通所介護利用者数 年間 8,591名

③ 加算

- ・入浴介助加算 ・個別機能訓練加算Ⅱ ・運動器機能向上グループ加算
- ・サービス提供体制強化加算（Ⅰ）
- ・介護職員処遇改善加算（Ⅰ）・介護職員特定処遇改善加算（Ⅰ）

④ サービス内容

ア 教室・サークル活動

地域ボランティアと共に、利用者個々の趣味に合う教室やサークル活動を提供しました。

月：体操教室 絵手紙教室 習字教室
火：おやつサークル ※麻雀サークル
水：カラオケサークル ※脳活性サークル
木：折紙教室 ※珈琲サークル

金：音楽教室、体操教室、習字サークル

土：カラオケサークル

日：麻雀サークル

全曜日：ウォーキングクラブ

※思い出話サークル・園芸サークル・お抹茶教室を追加しました。実施日は広報紙でお知らせしています。反応は良く、臨時利用・振替利用の問い合わせがありました。

イ 生活機能向上活動

ご利用者の生活機能向上を目的として「茶碗洗い・茶碗拭き・洗濯物干し・洗濯物たたみ・テーブル拭き」などの日常生活上の活動を取り入れ職員・ボランティアがサポートしながら実施しました。

ウ 行事

近隣公園へ歩行訓練を目的とした花見・帰りの送迎での花見ドライブ・春の運動会・流しそうめん・敬老会・秋祭り・クリスマス会・利用者大忘年会を実施し笑顔になれる行事としました。年末最終日の「利用者大忘年会」は、利用者紅白歌合戦、大抽選会（景品）、職員の余興（演奏・合唱・ダンス等）で1年を締めくくりました。

エ 食事

利用者に満足頂ける食事の提供に努めました。また、「お楽しみランチ」として季節感のある料理を実施し、実施日には臨時利用も受け付けました。

オ 交流・実習受け入れ

高舟台小学校とレクリエーションを通じた交流や保育園園児が毎月手作りカレンダーを持参し、歌のプレゼントや利用者全員と握手し質問に答える等、自然に笑顔となる交流の機会を設けました。また、看護学生の実習も積極的に受け入れました。

⑤ 通所介護事業・介護度別利用状況（H31.4月～R2.3月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	12	13	10	12	16	18	24	26	28	34	33	25	251	172	79
要支援2	77	84	83	81	79	71	81	68	60	55	53	52	844	1,116	△ 272
要介護1	255	238	212	233	220	220	239	290	278	267	262	263	2,977	2,998	△ 21
要介護2	223	270	242	261	268	237	215	218	197	204	211	213	2,759	2,550	209
要介護3	116	105	116	135	150	181	211	196	170	222	215	244	2,061	1,387	674
要介護4	25	32	34	52	49	46	35	37	39	29	28	43	449	348	101
要介護5	36	33	33	26	21	12	29	28	35	28	32	32	345	664	△ 319
総数	744	775	730	800	803	785	834	863	807	839	834	872	9,686	9,235	451
実施日数	30	31	29	31	31	30	30	30	28	28	29	31	358	359	△ 1
平均利用者数/日	24.8	25.0	25.2	25.8	25.9	26.2	27.8	28.8	28.8	30.0	28.8	28.1	27.1	26	1

（認知症対応型通所介護 「やまゆり」）

ご利用希望があった際に積極的に見学をしていただくことで、直接やまゆりのゆったりとした雰囲気を感じ取っていただき、安心して利用を開始できるように努めました。また、居宅介護支援事業所や訪問介護事業所からやまゆりの評判を聞いたと連絡があり、利用に繋がることも多く、利用者が徐々に増え、1日平均が前年度比1.1名の増となりました。

家族や担当ケアマネジャーと情報の共有を行い、ご利用者の個性を尊重した介護計画書を作成、支援してきました。また、家族やケアマネジャーと密接に連絡を取り合うことで、ご利用者の状況の変化をいち早く察知し、在宅での生活も安心・安全に継続できるような支援も行ってきました。

① 営業日 309日 休業日 日曜日及び12月31日～1月3日（4日間）

② 利用者数 年間 3004名

③サービス内容

ア 活動

季節を感じながら公園でのラジオ体操やボール運動、歩行訓練は心身ともに楽しみながらの良い活動となりました。地域の方との交流にもつながっています。

やまゆりの畑にて季節に応じたお花や野菜を栽培する事で、ご利用者の皆様と一緒に季節感を感じ、旬の食材を皆で味わうことができました。

イ 交流

グループホーム「晴海」との流しそうめんイベントやグループホーム「けやき園」との運営推進会議、イベント参加など近隣の事業所と交流を持つことができました。

ウ 機能訓練

機能訓練として屋外機能訓練や季節の行事による工作活動などのプログラムを実施しました。臨時で利用をしたいという希望者もあり、良い活動となってきています。

エ 食事

季節感を意識した献立は見た目も味も大変好評でした。

○介護度別利用状況（H31.4月～R2.3月） 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要介護1	36	38	45	47	43	42	45	47	50	36	53	54	536	326	210
要介護2	70	81	80	76	84	80	87	83	70	69	67	63	910	827	83
要介護3	50	58	41	51	51	38	45	41	46	55	72	78	626	852	△ 226
要介護4	32	34	52	67	58	51	53	59	54	50	52	53	615	367	248
要介護5	29	30	32	35	34	32	22	20	20	19	22	22	317	370	△ 53
総数	217	241	250	276	270	243	252	250	240	229	266	270	3,004	2,742	262
実施日数	26	27	25	27	27	25	26	26	25	24	25	26	309	318	△ 9
平均利用者数/日	8.3	8.9	10.0	10.2	10.0	9.7	9.7	9.6	9.6	9.5	10.6	10.4	9.7	8.6	1.1

3 職員研修

法人内部研修・ケアプラザ内部研修

研修名	参加延べ人数
人権研修	71名
メンタルヘルス研修	3名
法人内交流研修	12名
藤沢弁護士との事例検討会	1名
リスクマネジメント、セルフマネジメント研修	5名
階層別研修	14名

外部研修

研修名	参加延べ人数
各職種専門研修	125名

4 苦情

(1) 苦情受付件数 0件 (平成31年4月1日~令和2年3月31日)

別紙 1

地域活動交流

平成 31 年 4 月～令和元年 2 月
 ※平成 30 年度は 4～3 月までの数字

ア) 支えあい連絡会の開催

	開催数	参加人数	テーマ・内容詳細等
令和元年度(連絡会)	3	75	情報交換
平成30年度(連絡会)	4	98	情報交換

イ) 広報紙及びチラシの発行

	広報紙		チラシ		配布先
令和元年度	4回	6000枚	7回	10500枚	各町内会・関連機関に配布
平成30年度	4回	6000枚	7回	10500枚	

ウ) 貸館利用状況

件数 (単位:件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R2 合計	H30 合計	前年 比
多目的	午前	13	14	18	15	6	14	12	15	14	14	12	0	461	597	-136
	午後1	15	17	21	19	13	18	17	22	17	16	16	0			
	午後2	9	10	11	14	7	11	11	12	8	9	7	0			
	夜間	1	0	2	2	1	2	3	0	0	3	0	0			
調理室	午前	12	12	15	14	9	14	13	12	11	11	9	0	349	425	-76
	午後1	12	13	19	15	10	18	15	17	12	12	9	0			
	午後2	3	5	8	8	3	8	7	9	4	5	2	0			
	夜間	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0			
ボラ	午前	9	9	12	11	7	10	12	12	9	8	10	0	318	453	-135
	午後1	9	10	13	12	8	15	9	11	11	11	8	0			
	午後2	6	10	10	9	2	10	7	9	5	10	8	0			
	夜間	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	1	0			
合計		89	100	131	119	66	121	106	120	91	103	82	0	1128	1475	-347

稼働率 (単位:%)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R1 平均	H30 平均	前年 比
多目的	午前	45	47	62	50	20	48	40	52	52	52	43	0	46	53	-7
	午後1	52	57	72	63	43	62	57	76	63	59	57	0			
	午後2	31	33	38	47	23	38	37	41	30	33	25	0			
	夜間	4	0	8	8	4	9	13	0	0	14	0	0			
調理室	午前	41	40	52	47	30	48	43	41	41	41	32	0	41	49	-8
	午後1	41	43	66	50	33	62	50	59	44	44	32	0			
	午後2	10	17	28	27	10	28	23	31	15	19	7	0			
	夜間	0	0	4	0	0	5	0	0	0	5	0	0			
ボラ	午前	31	30	41	37	23	34	40	41	33	30	36	0	34	40	-6
	午後1	31	33	45	40	27	52	30	38	41	41	29	0			
	午後2	21	33	34	30	7	34	23	31	19	37	29	0			
	夜間	0	0	4	0	0	0	0	4	0	14	5	0			

※ 多目的:多目的ホール ボラ:ボランティアルーム

利用人数 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R1 合計	H30 合計	前年 比
	645	679	1467	722	419	714	834	865	539	892	688	0	8464	10055	-1591

平成 31 年 4 月～令和元年 2 月

※平成 30 年度は 4～3 月までの数字

事業等実施状況

		開催数	延参加者数	主 な 内 容	
地域活動交流	中高年	R1	36	574	体操教室、歌、盆踊り
		H30	34	493	
		前年比	2	81	
	子ども・養育者	R1	46	973	親子体操、おはなし会、講演会、サロン
		H30	65	1224	
		前年比	-19	-251	
	障がい児者	R1	15	121	ボランティア活動、夏期余暇支援、講演会 英会話
		H30	27	209	
		前年比	-12	-88	
	多世代交流	R1	5	133	ブラレール広場
		H30	5	131	
		前年比	0	2	
	健康作り	R1	21	325	食育講座、ピラティス、瞑想教室
		H30	25	396	
前年比		-4	-71		
地域交流	R1	11	149	ゴスペル教室、英会話（H29）	
	H30	12	214		
	前年比	-1	-65		
ボランティア	R1	3	39	講座、交流会	
	H30	5	97		
	前年比	-2	-58		
地域包括支援センター	介護者支援	R1	5	27	介護者のつどい
		H30	6	31	
		前年比	-1	-4	
	権利擁護	R1	5	114	成年後見制度に関する講座や相談会、高齢者虐待の事例検討会など
		H30	5	80	
		前年比	0	34	
難病支援	R1	2	17	パーキンソン病交流会	
	H30	2	10		
	前年比	0	7		
地域交流・地域包括・生活支援体制の共催	地域支援・地域づくり	R1	2	58	かまりやーの、つながりの会
		H30	4	97	
		前年比	-2	-39	
	サロン	R1	6	117	手芸サロン、会食サロン
		H30	7	158	
		前年比	-1	-41	
	認知症	R1	17	555	認知症サロン、キャラバンメイト交流会 認知症サポーター養成講座（保育園、小学校、大学、福祉施設等）
		H30	17	351	
		前年比	0	-204	
	福祉保健・暮らし	R1	27	379	医療講演会、消費者被害・交通安全等講座
		H30	30	513	
		前年比	-3	-134	
	福祉・職業体験、交流等受け入れ	R1	18	458	釜利谷南小学校、高舟台小学校、富岡中学校、釜利谷中学校 ルノアール金沢、かのん保育園、釜利谷保育園
		H30	29	355	
前年比		-11	103		
その他	車椅子の貸し出し、広報紙・チラシ作成、かまもりホルダー受付				

※地域・関係団体等との共催を含む

令和元年度 柳町地域ケアプラザ事業報告

概説

令和元年 11 月に開所 10 周年を迎えました。近隣地域の事業所と共催で開催した感謝祭にて 10 周年記念式典を催しました。地域の方々の温かい支えがあって無事に 10 年を迎えられたことに感謝しています。これからも地域の多世代の方から頼られるケアプラザを目指して積極的に地域との関係づくりをしていきます。

デイサービスの指定通所介護事業では利用者数が安定してきました。しかし認知症対応型通所介護事業では平成 30 年度後半からの利用者減少が影響し、経営面でひっ迫した状態になっています。加えて令和 2 年 3 月辺りから新型コロナウイルス感染症対策では職員も不安がある中で懸命に現場での業務を遂行してきました。衛生管理等をよりしっかり続けながら、安心して通所していただけるように努め、新型コロナウイルス感染症が終息した時には、いち早く通常の受け入れ態勢を整え、日々の生活をより良くする支援ができるよう取り組んでいきます。

【2月・3月の新型コロナウイルス感染症対策】

- ・職員、利用者のマスク着用 手指等の消毒を徹底
- ・ボランティア受入の見合わせ
- ・職員出勤前の健康チェック（チェック簿の記載）
- ・貸館、自主事業の中止
- ・サービス担当者会議等訪問を伴う業務を原則自粛 等

1 重点項目の実施状況

(1) 地域活動・交流事業

学校との交流では、瀬ヶ崎小学校の福祉教育（認知症サポーター養成講座）や関東学院大学の「大学生とケアプラザの連携した事業の企画」においてワークショップに参加するなど、小学生との交流を深めました。また、六浦中学校 2 年生を対象とした福祉教育では「高齢者の疑似体験プログラム」を金沢区社会福祉協議会と共同で実施しました。

六浦東地区もりのお茶の間の後方支援、六浦地区で開始された地域の人材発掘のためのレコード鑑賞会など、住民主体の活動について後方支援を継続していきます。

自主事業開催数	101 回（前年度比△29 回）	延べ 1,754 人（前年度比△204 人）
貸館状況	1,590 件（前年度比△332 件）	延べ 8,780 人（前年度比△2,204 人）

★3 月は貸館・自主事業共に新型コロナウイルス感染症対策で中止

(2) 地域包括支援センター事業

情報が届きにくいと思われる地域を意識しながら、地域包括支援センターの役割・介護保険についての情報を伝えることを心掛けました。地域に出向いていく中で顔の見える関係構築に力を入れました。相談窓口としての役割が伝わったのか各地域から介護予防

講座や介護保険に関する講座開催の依頼も続いており、目的や住民の意向を確認しながら進めていくことを心掛けました。

【包括担当エリア】

高齢化率：65歳以上の人口比

地区	人口	高齢化率
六浦地区（六浦1～3丁目・瀬戸・柳町）	11,768人	28.15%
六浦東地区（六浦東1～3丁目）	6,330人	29.27%
大川地区（レイディアントシティ横濱）	5,693人	12.12%

（3）生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

今年度は、生活支援コーディネーターのための研修だけに限らず、様々な研修にも積極的に参加しました。個別支援から地域の課題を考え、事業展開へ発展させる視点について学ぶなど、今後、様々な視点を取り入れ業務に活かせるようにしていきます。

（4）指定居宅介護支援事業（介護予防・総合事業含む）

今年度も高齢夫婦、独居で認知症がある方、様々なケースについて区役所・主治医との連携を図りつつ、支援を行ってきました。また、居宅事業内部での情報共有に努め、担当ケアマネジャーが不在時も他のケアマネジャーが対応し、ご利用者に安心していただける体制を整えました。

【柳町居宅介護支援事業の状況】

●一人当たりの担当件数の上限は介護・予防合わせて39件 ●1か月あたりの上限件数は 148件

介護ケアプラン作成数（要介護1～5）	1,245件	（前年度比 Δ44件）
介護予防ケアプラン作成数（要支援1～2）	387件	（前年度比 Δ14件）

（5）デイサービス事業（指定通所介護事業・認知症対応型通所介護事業）

利用者の心身状況や生活環境を把握し、介護計画に沿って通所介護を提供しました。ご利用者の状況変化や様子などを家族へ報告することや各担当ケアマネジャーへ月ごとにモニタリングで報告する他、直接居宅介護事業所へ訪問しての報告や、電話で様子を報告するなど、連携を図り適切なサービスに繋げました。また、モニタリングはご利用時の様子が分かる様に利用者一人一人の日常活動の様子を写真にしてお伝えしました。

	延べ利用者数	前年度比	定員/日	平均利用者/日
通所介護事業	8,763	233	30	24.5
認知症対応型かがやき	2,083	Δ359	10	5.8

2. 令和元年度 事業活動収支決算概要

	令和元年度	平成30年度	増減	備考
介護保険事業収益	186,966,047	187,614,342	△ 648,295	かがやきの利用者数減
経常経費寄付金収益	40,000	0	40,000	
サービス活動収益計(1)	187,006,047	187,614,342	△ 608,295	
人件費	153,789,501	147,178,135	6,611,366	常勤の実月数増 特定処遇改善等
事業費	19,741,919	18,183,669	1,558,250	
事務費	26,578,576	25,084,354	1,494,222	
減価償却費	8,608,111	8,752,190	△ 144,079	
国庫補助金取崩額	△ 6,334,053	△ 6,334,053	0	
サービス活動費用計(2)	202,384,054	192,864,295	9,519,759	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 15,378,007	△ 5,249,953	△ 10,128,054	
サービス活動外収益計(4)	1,417,954	1,638,275	△ 220,321	
サービス活動外費用計(5)	725,880	882,960	△ 157,080	職員給食食材費
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	692,074	755,315	△ 63,241	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 14,685,933	△ 4,494,638	△ 10,191,295	

<資料編>

1 事業別報告

(1) 地域活動・交流事業

「小物づくり」、「金沢区の歴史を学ぶ会」は参加者の希望により定期的を開催することになりました。「金沢区の歴史を学ぶ会」は歴史に関心がある男性が多く参加されています。

障がい児・者余暇支援は平成 30 年度末に実施した参加者保護者へのアンケートと面談にて「休日に長時間のプログラムをしてほしい」との要望が多くあったことから、定例開催に加え12月、3月に昼食を挟んでの事業を行いました。また、夏には区内の釜利谷地域ケアプラザ、富岡地域ケアプラザと共催でボルダリング体験、羽田空港工場見学、昼食作り（カレーライス）を行い、大変好評でした。

瀬ヶ崎小学校 4 年生との交流ではケアプラザを知りたいとの要望により、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業と共同でスライド説明やクイズを行いました。その後、認知症サポーター養成講座受講、デイサービスでの交流と続き、調整を行いました。

六浦東もりのお茶の間の認知症カフェ「お茶の間カフェ」、六浦地区のレコードを聴く会「定年だよ！全員集合！」は生活支援体制整備事業、地域包括支援センターと協働で後方支援を行っています。

※実施状況は別紙

(2) 地域包括支援センター事業

地域包括支援センターとしての役割を周知するため、地域の会合に積極的に出向き、説明する機会を活用することを心掛けました。地域の役員の方からの依頼で、地域包括支援センターの役割と介護保険についての説明を行うこともありました。前年度に引き続き、ケアプラザに赴くことが難しいと思われる地域については、地域の自主活動への参加を通して相談窓口の周知や、依頼により認知症サポーター養成講座を開催しました。

又、定年を迎えた方を対象にした講座、地域からの依頼で認知症予防に関する講座、地域関係者との連絡会では、AA（アルコール・アノニマス）の方を講師に招いた「アルコール依存症」について話を聞く機会を持つ等、地域の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進委員やケアマネジャーと顔の見える関係を築ききっかけづくりを積極的に取り組みました。

地域活動交流事業、生活支援体制整備事業との共催事業として認知症サポーター養成講座を開催し、認知症についての周知と、認知症の方への理解を深められるようにしてきました。地域の保育園、小学校、地域の方、区内公共施設職員対象に実施しました。

①総合相談支援事業（電話・来客の主な内容）

	令和元年度	平成30年度		令和元年度	平成30年度
介護保険	677	541	医療（※認知症以外）	95	98
介護予防事業	13	11	施設入所・入院	37	24
行政サービス	10	27	日常生活課題	164	231
インフォーマルサービス	61	59	苦情	6	18
認知症（BPSD）	84	67	成年後見制度・消費者保護	12	13
認知症（医療）	21	30	虐待	11	18
介護（※認知症以外）	60	75	その他	743	623
			合計	1,994	1,835

（相談内容が複数にわたる場合があり、内訳数は相談・訪問件数を上回る）

②権利擁護事業

ア 権利擁護に関する個別相談 23件（述べ件数）

- ・後見制度の関する相談（親族申立や相続に関するもの）
- ・虐待に関する相談（身体的虐待・経済的虐待・虐待疑いを含む）
- ・消費者被害に関する相談（訪問販売・近隣とのトラブル・消費者被害疑いを含む）

イ その他、権利擁護事業に関する業務

- ・金沢区成年後見サポートネットワーク事業参加（年3回）
- ・成年後見申立の相談を受け、必要に応じて申し立てについての情報提供
- ・虐待防止従事者研修に参加し、スキルアップ
- ・虐待に係る相談（疑い含む）については、区役所等と連携をとりながら対応
- ・六浦ケアプラザと共催で成年後見制度、消費者被害、虐待についての講座を地

域の方対象に実施。講座の前に金沢区版エンディングノート「これから」の説明・配布を行い、自分らしい人生を考えていただく機会となるよう周知を図る。

- ・介護者が孤立することを防ぐため、介護者のつどいを毎月実施し、心身共にリフレッシュできるような企画を実施。今年度は「お医者さんの上手なかかり方」というタイトルで講座を開催し、医療安全相談窓口の内容や医師とのコミュニケーションについて知る機会を持った。介護離職からの就労支援についての講座も企画したが、新型コロナウイルス感染予防のため、次年度に延期とした。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ア 担当エリア内のケアマネジャーからの相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	20	10	8	11	19	2	9	11	5	7	10	11	123
平成30年度	3	4	7	5	5	5	6	8	9	24	13	13	102
増△減	17	6	1	6	14	△3	3	3	△4	△17	△3	△2	21

・必要時エリア内外の居宅介護支援事業所を訪問し、区からの最新情報の提供・ケアプラン作成個別相談等を行っている。

イ 事業等取り組みについて

《研修関係》

- ・区主任ケアマネ部会主催：新任ケアマネジャー研修参加（年3回）
- ・区主任ケアマネ部会主催：金沢区内主任ケアマネジャー研修参加（年1回）
- ・金沢区役所・在宅医療相談室・区主任ケアマネ部会・保健師部会・社会福祉士部会・金沢ケアマネ倶楽部共済：病院の相談員と情報交換会開催
- ・区主任ケアマネ部会南部地区共催：南部事例検討会参加（年2回）
- ・区主任ケアマネ部会南部地区共済：ケアマネ支援サロン参加（年2回）
- ・区主任ケアマネ部会・金沢区薬剤師会共催：薬剤師と介護支援専門員との情報交換会参加
- ・横浜市主催：金沢区役所・区主任ケアマネジャー部会・保健師部会・社会福祉部会共催

：介護予防従事者研修開催

- ・柳町包括主催：民生委員・児童委員とケアマネジャー交流会開催（年1回）
- ・多職種協働等、人材育成研修参加

《その他》

ケアマネジャーからの相談については、面接や電話、居宅介護事業所への訪問を通して状況を確認し、必要に応じて同行訪問を行なうことで問題や課題の早期解決に取り組みました。

ウ サービス担当者会議・カンファレンス支援

単位：回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	3	0	1	2	2	0	0	2	2	0	0	0	12
平成30年度	3	4	1	5	1	1	2	1	1	0	2	2	23
増△減	0	△4	0	△3	1	△1	△2	1	1	0	△2	△2	△11

・処遇困難事例ケースに関しては区・担当ケアマネジャーと協働で行う

④ 介護予防支援・日常生活支援総合事業

高齢者が、要支援・要介護状態になること、重度化をできるだけ予防し、自身の力を生かした自立に向けた支援を行うよう努めました。

住み慣れた地域の中で、人とつながり、生き生きと暮らしていくことができるような地域づくりを意識して、事業を開催しました。

ア 介護予防普及啓発事業の取り組み

- ・ロコモ予防 (10/1・11/19・11/30) 参加者 計 52 名
- ・口腔ケア講座・歯科講演会 (6/19・6/26) 参加者 計 27 名
- ・栄養講座 (7/24) 参加者 計 20 名
- ・医療講演会

「その健康診断無駄にいませんか？」(5/30) 参加者 計 16 名

「認知症を知って予防しよう」(2/4) 参加者 計 33 名

・認知症講座 (11/27) (3/24 新型コロナウイルスにより中止) 参加者 計 13 名

・感謝祭 血流チェックと健康相談会 (11/2) 参加者 計 60 名

・和の会 介護保険についての講座 (6/19) 参加者 計 12 名

・健康相談(ちょこっと相談) 毎月1回(3月中止) 参加者 11 回 計 133 名

*毎月第1木曜日のほっとすペース(地域住民向け食事会)の前に、ちょこっと相談を開催。希望者に対し、血圧や体重(BMI・内臓脂肪・推定骨量等)・握力測定を行い、定期的な健康チェックと健康相談が出来る場を提供し、健康に関する情報提供を行いました。また、ほっとすペースの場を生かし、事業案内や口腔体操、頭の体操を兼ねた栄養講話などを行いました。

ちょこっと相談参加者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	14	12	10	13	13	13	11	8	13	12	14		133
平成30年度	16	14	16	17	19	14	15	16	14	12	11	12	176
増△減	△ 2	△ 2	△ 6	△ 4	△ 6	△ 1	△ 4	△ 8	△ 1	0	3	△ 12	△ 43

※令和2年3月は新型コロナウイルス対策で中止しています

イ 地域介護予防活動支援事業

・元気づくりステーション

「柳町 in コグニ」「お元気づくりステーションむつうら」に対し、活動が継続できるよう、区と協働し後方支援をしました。「柳町 in コグニ」では自主化後の運営に対し、進行アドバイスや情報提供などを随時行い、モチベーションを高められるよう支援しました。「お元気づくりステーションむつうら」は会員も増え、順調に活動しています。

・地域活動支援

地域の老人会や活動グループの支援を目的とし、地域へ出向き、認知症や介護予防などについての講話を行いました。

*お茶の間カフェ：全6回 参加者 98名

*おしゃべり茶屋えふしー 全2回 参加者 52名

⑤ 指定介護予防支援事業

住み慣れた地域でご本人が望む生活をイメージできるよう、わかりやすく個別性を尊重した介護予防支援計画書を作成しました。委託先の居宅介護支援事業所への介護予防ケアプラン等に関する指導・助言その他相談対応を行いました。

ア 包括支援センター担当件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	42	40	39	39	34	34	37	37	36	36	37	34	445
平成30年度	38	35	37	38	39	38	42	41	43	42	43	43	479
増△減	4	5	2	1	△5	△4	△5	△4	△7	△6	△6	△9	△34

※包括支援センター担当件数…包括支援センターで作成した件数

イ 委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	111	111	114	116	112	117	113	111	109	109	103	104	1,330
平成30年度	118	118	121	118	118	116	116	113	112	112	110	108	1,380
増△減	△7	△7	△7	△2	△6	1	△3	△2	△3	△3	△7	△4	△50

※包括支援センター以外の居宅介護支援事業所に委託契約を行い、介護支援専門員が作成した件数。

⑥ 地域ケア会議

地域の情報や課題を共有し、必要な支援体制の構築を図るために、地域ケア会議を開催しました。個別ケース地域ケア会議を3回実施し、関係機関と顔の見える関係づくりや情報共有を行いました。包括レベル地域ケア会議は3月を予定していましたが、新型コロナウイルス対策にて実施できませんでしたが、個別ケースでは認知症等にて支援を受け入れない等、多問題を抱えている高齢者を年間テーマとして実施しました。

民生委員児童委員はもとより近隣病院、薬局、郵便局、昔ながらの商店に参加いただき、地域プラザの周知や専門職ならではの困りごとを伺い、民生委員も掘みきれないミニマムな共助などの情報共有が出来ました。

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター業務）

前年度に引き続き、ケアプラザから特に離れている地域で行われている住民主体のサ

ロンや、今まで参加することが困難だったサロンにも積極的に参加し、地域住民との関係の構築を図りました。

その結果、サロンの参加者をはじめ、住民を対象とした認知症サポーター養成講座を依頼されることにつながり、包括支援センター、地域住民でもあるキャラバンメイトとの協働で開催することができました。

六浦地区で始まった、定年前後の人たちを対象にした居場所づくりとしてのレコード鑑賞会では、包括支援センター、地域活動交流コーディネーターと一緒に後方支援を行っています。

(4) 指定居宅介護支援事業

週1回の定例会議、月に1回の事例検討を継続してきました。その会議では、上大岡・ウィリングにある「情報資料室(介護関係の書籍等の貸出を行っています)」を活用し、相談援助技術のDVDを借りて視聴研修を実施しました。

ケアマネジャー実習生受け入れも3年目となり、地域のケアマネジャーの資質向上に資すると共に、自分たち自身の支援の振り返りのいいきっかけとなっています。

ア 居宅事業ケアプラン作成数

介護ケアプラン作成数(要介護1～要介護5判定の方)

提供月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	99	103	104	101	97	106	108	103	105	107	105	107	1,245
平成30年度	102	101	103	107	110	112	108	112	111	111	105	107	1,289
増減	△3	2	1	△6	△13	△6	0	△9	△6	△4	0	0	△44

介護予防ケアプラン作成数(要支援1～要支援2判定の方)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	28	33	31	37	34	34	35	33	31	31	30	30	387
平成30年度	36	36	36	35	34	34	33	33	31	31	31	31	401
増減	△8	△3	△5	2	0	0	2	0	0	0	△1	△1	△14

※常勤換算でケアマネジャー1人当たりの件数限度は介護・予防合わせて39件

※現在の常勤換算では、1か月あたり148件が上限

※特定事業所加算Ⅲ(1件当たり3,336円)は介護ケアプランのみ算定

イ 契約者数(令和2年3月31日現在)

	契約者数		内新規契約者数		終了者数	
	介護	予防	介護	予防	介護	予防
令和元年度	107	35	40	13	41	10
平成30年度	107	31	50	5	51	1
前年度比	0	4	△10	8	△10	9

ウ 金沢区等委託契約による介護認定調査件数（区との契約数は年間 130 件）

	令和元年度	平成30年度	前年度比
件数	83	118	△ 35
含区外件数	1	4	△ 3

(5) デイサービス事業（指定通所介護事業・認知症対応型通所介護事業）

① 指定通所介護事業

利用者が安全に安心してデイサービスをご利用できるように環境整備などを行ってきました。転倒事故等の事故報告書やヒヤリハット報告書を基にその都度環境の改善や対応方法の改善を行いました。

利用者個々のケアプラン（社会交流、心身機能低下予防、清潔保持、健康管理、認知症予防、生活の楽しみ等）に沿って通所介護計画を作成し、利用者が交流しやすい席配置やレクリエーション・個別活動を実施しました。運動機能維持向上のために各体操や個別機能訓練の提供、看護師による健康管理、清潔保持には入浴提供を行いました。行事は認知症対応型通所介護と合同で実施することで職員間の連携を深める機会となりました。

<サービス内容>

（安全）

デイルーム内環境整備、職員の人員配置工夫、マニュアルの見直し、職員研修の実施を行い利用者に安全に安心して利用していただけるように取り組みました。

（プログラム）

健康管理、入浴提供、各種体操、個別機能訓練、運動器機能向上訓練、趣味活動、レクリエーション、個別レクリエーション、食事お茶菓子提供、コーヒータイム等を提供しました。

（レクリエーション）

週替わりのレクリエーション、有線カラオケ・麻雀・将棋、ボランティア指導による創作活動・町の先生による絵手紙教室・体操教室の定期開催・施設内施設周りの歩行訓練目的のウォーキング等を提供しました。

（入浴）

季節を感じていただけるように恒例となった菖蒲湯や柚子湯、毎月第3週はお楽しみ湯として様々な入浴剤を入れ普段とは違い気分転換にもなりました。

（季節）

送迎時のお花見、夏祭り、運動会、敬老会、お楽しみランチ等さまざまな季節を感じられる行事の開催を企画し実施しました

(食事)

月に一回日本各地の郷土料理を提供し、楽しんで頂き、自分の故郷の郷土料理の時等は会話も弾んでいる利用者もいます。

お茶菓子ではお誕生日週間のケーキやおやつバイキングを実施するなど好評でした。

(交流)

ゆめ和柳町保育園との定期的な交流(月2回)を実施するほか、夏祭りに招待し楽しいひと時を共有できる企画となりました。

また、地域の小学校(瀬ヶ崎)と交流する機会もあり、小学生の企画したレクや歌などを一緒に楽しみ良い交流の機会となりました。

(開館日数) 358日(感謝祭、台風で休業あり)

通所介護事業・介護度別利用状況(平成31年4月~令和2年3月) 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援1	40	48	57	59	48	42	45	35	37	34	42	34	521	524	△3
要支援2	115	120	111	129	123	124	127	118	117	119	107	115	1,425	1,246	179
要介護1	135	131	132	140	153	127	143	123	129	149	154	157	1,673	1,600	73
要介護2	280	306	286	298	279	247	239	252	218	236	246	238	3,125	3,362	△237
要介護3	59	64	76	81	79	88	81	90	81	75	61	90	925	749	176
要介護4	79	81	82	84	74	91	102	98	83	83	85	73	1,015	904	111
要介護5	3	3	4	5	6	9	8	9	11	8	6	7	79	145	△66
総数	711	753	748	796	762	728	745	725	676	704	701	714	8,763	8,530	233
実施日数	30	31	30	31	31	30	30	29	28	28	29	31	358	359	△1
平均利用者数/日	23.7	24.3	24.9	25.7	24.6	24.3	24.8	25.0	24.1	25.1	24.2	23.0	24.5	23.8	0.7

② 認知症対応型通所介護 かがやき

今年度は、安心して過ごしていただくことに加え、より楽しいと感じていただけるプログラムの企画や環境の整備を行いました。デイサービスに行くことを楽しい、楽しみだと思いながらご自宅でも安心して生活が送れるよう、ケアマネジャーには電話やモニタリングで、ご家族には送迎時や電話、連絡帳等で細かい様子の変化や言動を報告し連携を図りました。

また、より多くの方にデイサービスの様子を知っていただく為に日頃の様子を広報やホームページに掲載しました。ホームページをご覧になった方の問い合わせや新規契約が少しずつ増えてきました。

＜サービス内容＞

（安全）

職員の目が行き届く様テーブルやソファの配置を変えたことで、歩行の導線や視界が広がり、事故を防ぐ事と職員間のコミュニケーションも取りやすくなり、チームワークも向上しました。

（活動）

園芸活動では花や野菜を育て収穫することで、季節を感じ、体を動かし、おやつ作りの活動につなげ、「自分で育てた、収穫した野菜の味は格別」と達成感や満足感を感じ喜んでいただきました。

畑に行くだけではなく、ケアプラザの周囲や柳町町内へ出て屋外歩行訓練もしました。屋内では、新聞のカラー広告部分を使ってちぎり絵に挑戦し和紙のような風合いで、温かみのある作品が出来ました。

コーヒーミルで豆から挽いたコーヒーをいただく「かがやき喫茶」では、コーヒーの香りに癒され、落ち着いた時間を過ごしていただく事が出来ました。

（入浴）

季節を感じ、楽しんでいただけるように、菖蒲湯や柚子湯などを用意しました。

また浴室で職員と会話をしながら、のんびり楽しんで頂けるよう、くつろげる雰囲気づくりをしました。

（季節）

夏祭り、敬老会、クリスマス会等、季節ごとの行事では、保育園の園児やボランティアの方達と共に充実した楽しいひと時を過ごせるように企画、実行し、季節に合った壁面飾りや吊るし飾りでも行事を盛り上げました。

（保育園との交流）

ゆめ和柳町保育園の訪問により、小さな子供の笑顔や泣き声に利用者の笑顔が増えるなど楽しみな交流となっています。

子供達の散歩中、畑の野菜を見ている楽しそうな声が聞こえるので、テイルームの窓を開けて挨拶をする等の交流もしました。

（運営推進会議）

9月24日、地域にお住まいの方や、施設の方、ご家族にデイサービスへお越しいただき、日頃の活動を報告しています。地域の情報や家族の思いや悩み・経験談を聞き、共有、参考にさせていただきました。

3月に開催予定の運営推進会議は、コロナウイルス対策の関係で中止となりました。

（スキルアップ）

毎月の会議にて、職員間で認知症の方への対応について議論し、書籍や映像等の情報を共有することで認知症介護のスキルアップに繋がりました。

外部の研修には、常勤だけではなく非常勤も参加しました。

(開館日数) 358日(感謝祭、台風で休業あり)

認知症対応型通所介護事業利用状況(平成31年4月~令和2年3月) 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0	7
要介護1	17	23	14	17	7	7	7	9	5	20	18	19	163	632	△469
要介護2	102	95	102	105	109	89	77	76	73	71	75	70	1,044	745	299
要介護3	37	41	34	38	56	57	63	61	53	51	44	58	593	870	△277
要介護4	9	8	7	13	13	31	27	29	31	32	33	43	276	195	81
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	165	167	157	173	185	184	174	175	162	174	177	190	2083	2,442	△359
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359	359	0
平均利用者数/日	5.5	5.4	5.2	5.6	6.0	6.1	5.6	5.8	5.8	6.2	6.3	6.1	5.8	6.8	△1.0

2 職員研修(人材育成)

法人・柳町地域ケアプラザ(内部研修)

研修名	参加人数
人権研修	55名
階層別研修	15名
法人職員交流研修	24名
救命救急AED研修	27名
感染症研修	30名
認知症の人とのかかわり方(意思決定支援)	47名

外部研修

研修名	参加人数
各種専門研修	78名

3 苦情

(1) 苦情受付件数 0件(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

(別紙) 地域活動交流事業

① 支えあい連絡会の開催

	開催数	参加人数	テーマ・内容詳細等
令和元年度	0	0	※3月の予定がコロナウイルス対策で中止
平成30年度	1	25	横浜市大ボランティア支援室からの情報提供

② 広報誌及びチラシの発行

	広報紙	チラシ	配布先
令和元年度	3回	47回	来館者・各町内会・関連機関に配布
平成30年度	4回	60回	

③ 貸館状況

(単位:件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元	H30	前年比
															合計	
多目的	午前	17	18	19	22	23	17	19	23	21	18	17	0	638	790	△152
	午後1	18	18	23	26	25	21	25	20	19	19	20	0			
	午後2	10	15	9	14	12	10	13	12	10	9	12	0			
	夜間	7	8	3	4	4	2	8	8	6	7	7	0			
調理室	午前	3	5	6	6	8	6	4	6	9	5	8	0	260	296	△36
	午後1	8	8	9	9	10	8	7	9	12	8	13	0			
	午後2	8	8	10	7	10	6	6	8	11	8	9	0			
	夜間	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
ボラ	午前	9	10	11	16	9	7	8	11	12	7	8	0	419	490	△71
	午後1	14	14	14	11	6	14	12	14	13	14	11	0			
	午後2	13	13	16	11	5	14	12	13	12	13	15	0			
	夜間	3	3	6	4	0	3	2	4	2	5	5	0			
地域	午前	6	4	6	7	10	8	6	8	6	3	6	0	273	346	△73
	午後1	10	10	7	7	8	7	8	12	12	8	9	0			
	午後2	7	5	5	5	6	5	5	6	8	6	8	0			
	夜間	4	4	3	4	4	3	4	4	2	3	4	0			
合計		137	143	148	153	140	131	139	158	156	133	152	0	1,590	1922	△332

稼働率

(単位:%)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元	H30	前年比						
															合計		合計					
多目的	午前	59	60	66	73	77	59	66	79	78	67	61	0	62	74	△12						
	午後1	62	60	79	87	83	72	86	69	70	70	71	0				67	85	△18			
	午後2	34	50	31	47	40	34	45	41	37	33	43	0							36	49	△13
	夜間	30	36	13	16	16	9	35	33	26	32	32	0									
調理室	午前	10	17	21	20	27	21	14	21	33	19	29	0	19	22	△3						
	午後1	28	27	31	30	33	28	24	31	44	30	46	0				29	34	△5			
	午後2	28	27	34	23	33	21	21	28	41	30	32	0							26	29	△3
	夜間	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0									
ボラ	午前	31	33	38	53	30	24	28	38	44	26	29	0	31	39	△8						
	午後1	48	47	48	37	20	48	41	48	48	52	39	0				39	52	△13			
	午後2	45	43	55	37	17	48	41	45	44	48	54	0							39	42	△3
	夜間	13	14	25	16	0	14	9	17	9	23	23	0									
地域	午前	21	13	21	23	33	28	21	28	22	11	21	0	20	22	△2						
	午後1	34	33	24	23	27	24	28	41	44	30	32	0				28	38	△10			
	午後2	24	17	17	17	20	17	17	21	30	22	29	0							19	27	△8
	夜間	17	18	13	16	16	14	17	17	9	14	18	0									

※ 多目的：多目的ホール ボラ：ボランティアルーム 地域：地域ケアルーム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元	H30	前年比
													合計	合計	
利用人数(単位:人)	683	712	852	914	699	679	743	1144	820	709	825	0	8780	10984	△2204

④ 自主事業実施状況（平成31年4月～令和2年3月）

	事業年度	開催数	延参加者数	内 容
高齢者支援	R元	11	166	フラワーアレンジメント
	H30	12	150	フラワーアレンジメント
	前年比	△1	16	
子育て支援	R元	13	169	あかちゃんといっしょ、ケムケム座公演
	H30	27	245	あかちゃんといっしょ、子育てフリースペース、子どもイベント、ケムケム座公演
	前年比	△14	△76	
障がい児者支援	R元	14	107	おひさま広場、3ヶアプラザ共催夏の余暇支援
	H30	15	155	おひさま広場、区内合同サマーフレンド
	前年比	△1	△48	
学童向け	R元	7	60	小学生お菓子作り、レゴパーク、親子で冷やし中華
	H30	7	49	レゴパーク、小学生お菓子作り
	前年比	0	11	
多世代交流 （小学生・高齢者）	R元	2	31	木エクラフト
	H30	2	29	木エクラフト
	前年比	0	2	
男性向け	R元	5	39	金沢区の歴史を学ぶ会
	H30	3	28	金沢区の歴史を学ぶ会
	前年比	2	11	
健康作り	R元	1	22	てくてく金沢
	H30	12	72	てくてく金沢、フラダンス、健美ダンス講座
	前年比	△11	△50	
福祉チャレンジ事業 ・車椅子介助体験 ・視覚障害者誘導介助体験 ・手話体験 ・点字体験	R元	4	140	六浦中学校2年生高齢者疑似体験
	H30	0	0	
	前年比	4	140	
福祉体験授業	R元	1	56	認知症サポーター養成講座
	H30	1	45	認知症サポーター養成講座
	前年比	0	11	
福祉保健、健康、暮らし	R元	0	0	
	H30	0	0	
	前年比	0	0	
ボランティア育成	R元	2	28	市大学生対象ボランティア養成講座
	H30	4	68	ボランティア感謝会、大学生対象ボランティア育成講座
	前年比	△2	△40	
地域交流	R元	16	211	団体交流会、輪飾り作り、ほっとランチ、小物作り講座、出張蕎麦の会
	H30	20	265	輪飾り作り、団体交流会、ほっとランチ、上映会、初めてのウクレレ講座
	前年比	△4	△54	
出張講座等	R元	3	36	認知症サポーター養成講座
	H30	3	75	認知症サポーター養成講座
	前年比	0	△39	
サロン	R元	22	689	おしゃべりカフェ、ほっとすぱーす
	H30	24	777	おしゃべりカフェ、ほっとすぱーす
	前年比	△2	△88	
合 計	R元	101	1,754	
	H30	130	1,958	
	前年比	△29	△204	

※共催及び後援事業を含む

法人単位資金収支計算書
(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	423,448,415	416,540,644	6,907,771	
	就労支援事業収入	3,050,000		3,050,000	
	障害福祉サービス等事業収入	1,227,627,060	1,226,412,278	1,214,782	
	借入金利息補助金収入	287,800	242,880	44,920	
	経常経費寄附金収入	450,000	2,052,760	△ 1,602,760	
	受取利息配当金収入	59,000	8,552	50,448	
	その他の収入	25,198,000	25,010,907	187,093	
	事業活動収入計(1)	1,680,120,275	1,670,268,021	9,852,254	
	支出				
人件費支出	1,241,942,300	1,231,330,677	10,611,623		
事業費支出	221,217,000	217,100,743	4,116,257		
事務費支出	190,159,760	186,147,936	4,011,824		
就労支援事業支出	2,980,000		2,980,000		
支払利息支出	287,800	242,880	44,920		
その他の支出	9,398,000	7,602,416	1,795,584		
事業活動支出計(2)	1,665,984,860	1,642,424,652	23,560,208		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	14,135,415	27,843,369	△ 13,707,954		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	11,735,000	9,503,400	2,231,600	
	固定資産売却収入		22,640	△ 22,640	
	施設整備等収入計(4)	11,735,000	9,526,040	2,208,960	
	支出				
設備資金借入金元金償還支出	5,780,000	5,780,000	0		
固定資産取得支出	62,283,000	59,634,782	2,648,218		
施設整備等支出計(5)	68,063,000	65,414,782	2,648,218		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 56,328,000	△ 55,888,742	△ 439,258		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	37,629,000	38,486,010	△ 857,010	
	その他の活動収入計(7)	37,629,000	38,486,010	△ 857,010	
	支出				
	積立資産支出	32,483,800	30,930,455	1,553,345	
その他の活動支出計(8)	32,483,800	30,930,455	1,553,345		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,145,200	7,555,555	△ 2,410,355		
予備費支出(10)		—			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 37,047,385	△ 20,489,818	△ 16,557,567		
前期末支払資金残高(12)	603,607,614	603,607,614	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	566,560,229	583,117,796	△ 16,557,567		

法人単位事業活動計算書
(自)平成31年 4月 1日(至)令和 2年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	416,540,644	405,216,945	11,323,699
	障害福祉サービス等事業収益	1,226,412,278	1,150,264,875	76,147,403
	経常経費寄附金収益	2,052,760	889,833	1,162,927
	サービス活動収益計(1)	1,645,005,682	1,556,371,653	88,634,029
	費用			
	人件費	1,228,565,667	1,162,911,238	65,654,429
事業費	217,100,743	205,571,468	11,529,275	
事務費	186,147,936	151,139,310	35,008,626	
減価償却費	65,803,146	68,281,973	△ 2,478,827	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 49,933,871	△ 52,577,374	2,643,503	
サービス活動費用計(2)	1,647,683,621	1,535,326,615	112,357,006	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 2,677,939	21,045,038	△ 23,722,977	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	242,880	264,960	△ 22,080
	受取利息配当金収益	8,552	16,780	△ 8,228
	その他のサービス活動外収益	25,010,907	23,446,583	1,564,324
	サービス活動外収益計(4)	25,262,339	23,728,323	1,534,016
	費用			
	支払利息	242,880	264,960	△ 22,080
その他のサービス活動外費用	7,602,416	8,133,250	△ 530,834	
サービス活動外費用計(5)	7,845,296	8,398,210	△ 552,914	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	17,417,043	15,330,113	2,086,930	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	14,739,104	36,375,151	△ 21,636,047	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	9,503,400	4,774,228	4,729,172
	施設整備等寄附金収益		5,079,620	△ 5,079,620
	固定資産売却益	22,639	114,639	△ 92,000
	特別収益計(8)	9,526,039	9,968,487	△ 442,448
	費用			
	固定資産売却損・処分損	9,104		9,104
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△ 1,935,267		△ 1,935,267	
国庫補助金等特別積立金積立額	11,438,666	4,344,228	7,094,438	
特別費用計(9)	9,512,503	4,344,228	5,168,275	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	13,536	5,624,259	△ 5,610,723	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	14,752,640	41,999,410	△ 27,246,770	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	669,705,913	640,855,918	28,849,995
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	684,458,553	682,855,328	1,603,225
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	35,721,000		35,721,000
	その他の積立金積立額(16)	30,930,455	13,149,415	17,781,040
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	689,249,098	669,705,913	19,543,185

法人単位貸借対照表
令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	638,274,531	683,252,652	△ 44,978,121	流動負債	60,936,735	85,425,038	△ 24,488,303
現金預金	373,250,899	437,422,291	△ 64,171,392	事業未払金	36,868,747	47,194,685	△ 10,325,938
事業未収金	229,738,348	213,337,806	16,400,542	1年以内返済予定設備資金借入金	5,780,000	5,780,000	0
未収補助金	7,793,666	0	7,793,666	預り金	0	47,239	△ 47,239
貯蔵品	10,200	25,417	△ 15,217	職員預り金	13,055,325	21,777,201	△ 8,721,876
立替金	7,436,209	12,864,089	△ 5,427,880	前受金	2,402,992	2,432,992	△ 30,000
前払費用	20,015,209	19,573,049	442,160	仮受金	2,829,671	8,192,921	△ 5,363,250
その他の流動資産	30,000	30,000	0				
固定資産	1,342,646,744	1,356,012,743	△ 13,365,999	固定負債	125,170,000	122,417,530	2,752,470
基本財産	1,015,528,061	1,030,563,514	△ 15,035,453	設備資金借入金	40,020,000	45,800,000	△ 5,780,000
建物	1,015,528,061	1,030,563,514	△ 15,035,453	退職給付引当金	85,150,000	76,617,530	8,532,470
その他の固定資産	327,118,683	325,449,229	1,669,454	負債の部合計	186,106,735	207,842,568	△ 21,735,833
建物	50,237,417	46,387,299	3,850,118	純資産の部			
構築物	3,083,064	3,709,977	△ 626,913	基本金	58,506,000	58,506,000	0
車輛運搬具	7,647,900	11,167,817	△ 3,519,917	第1号基本金	58,506,000	58,506,000	0
器具及び備品	24,760,314	23,085,422	1,674,892	国庫補助金等特別積立金	914,415,301	954,845,773	△ 40,430,472
権利	21,976,071	13,755,969	8,220,102	その他の積立金	132,644,141	148,365,141	△ 15,721,000
ソフトウェア	1,522,756	2,263,054	△ 740,298	修繕積立金	132,644,141	148,365,141	△ 15,721,000
退職給付引当資産	85,150,000	76,617,530	8,532,470	次期繰越活動増減差額	689,249,098	669,705,913	19,543,185
修繕積立資産	132,644,141	148,365,141	△ 15,721,000	(うち当期活動増減差額)	14,752,640	41,999,410	△ 27,246,770
長期前払費用	97,020	97,020	0	純資産の部合計	1,794,814,540	1,831,422,827	△ 36,608,287
資産の部合計	1,980,921,275	2,039,265,395	△ 58,344,120	負債及び純資産の部合計	1,980,921,275	2,039,265,395	△ 58,344,120